

まんのう町総合計画の検証

まんのう町この10年・次の10年

昭和63年の全国育樹祭

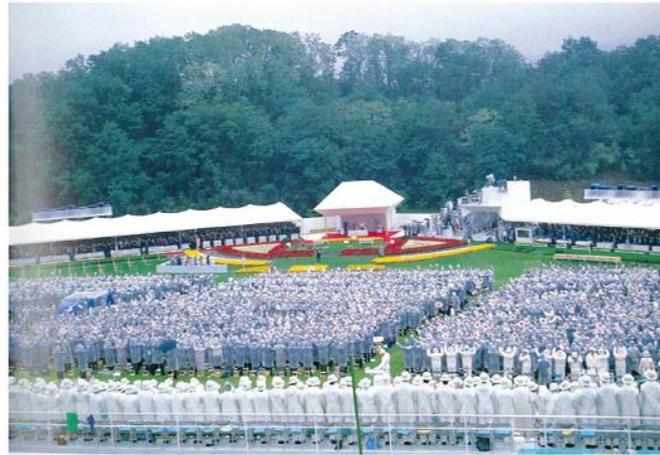
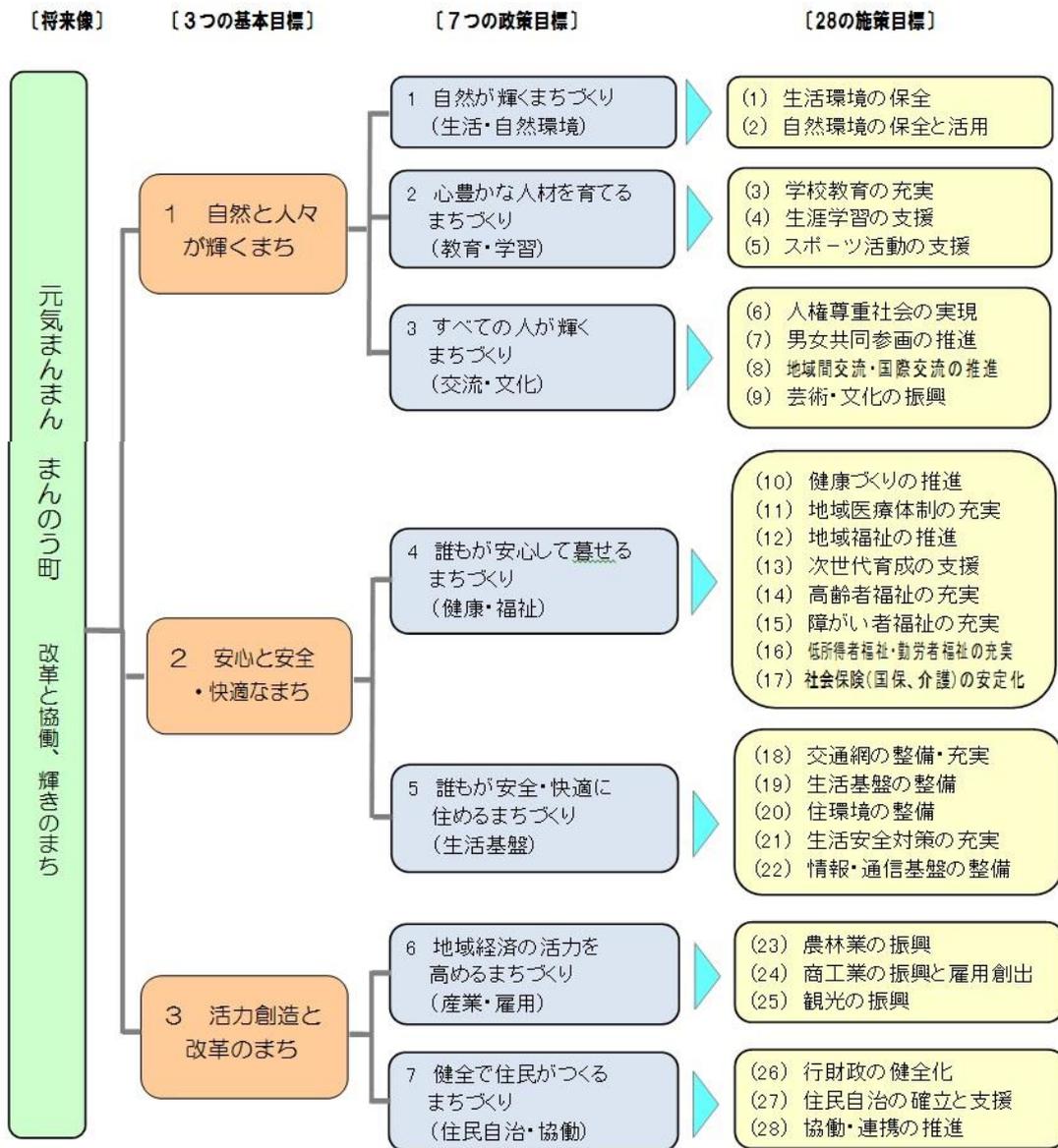


写真:香川県ホームページより

※この資料は、まんのう町が、これからの施策・事業を検討するための参考資料として、総合計画の体系に基づき、この10年の各種指標の変化や、次の10年に取り組むべき政策課題を整理したものです。

平成29年11月

総合計画の体系



合併後のまんのう町では、総合計画に基づき、3つの基本目標、7つの政策目標、28の施策目標に沿って、施策を進めてきた。

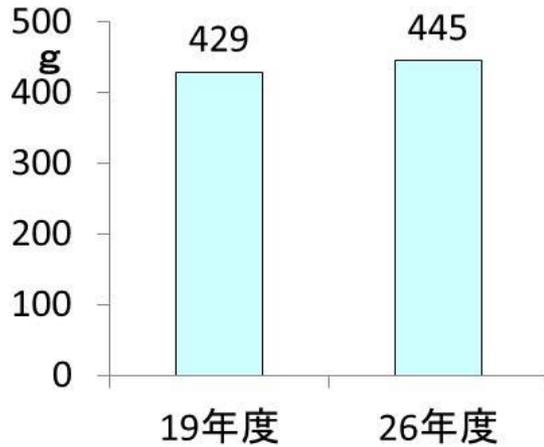
28の施策目標ごとの現状や課題は、次ページ以下のとおり。

1 生活環境の保全

わが国のごみ排出量の推移

まんのう町は、2市3町の中讃広域行政事務組合で一般廃棄物を共同処理。

まんのう町の1人1日当たりのごみ排出量



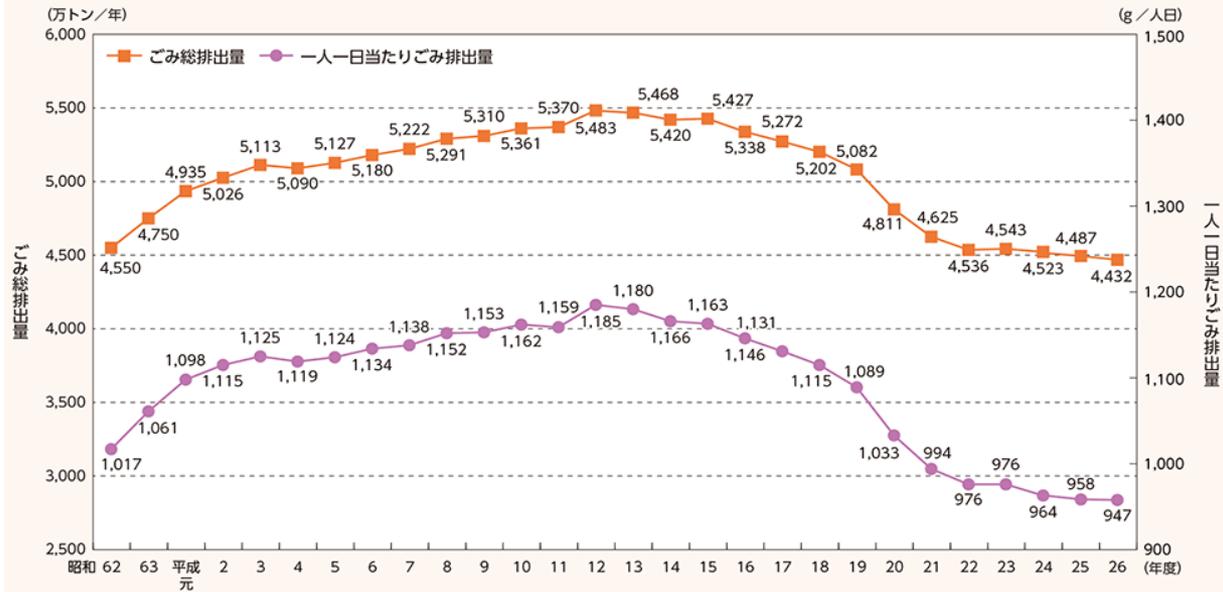
仲善クリーンセンター(琴平町地内)



写真: 中讃広域行政事務組合ホームページより



図3-2-14 ごみ総排出量と一人一日当たりごみ排出量の推移



資料: 平成28年版環境白書・循環型社会白書・生物多様性白書

まんのう町の1人1日当たりごみ排出量は400g台で、微増で推移するも、極めて少ない(香川県一少ない。全国平均の半分程度)。
全国的には、近年、1人1日当たりごみ排出量が減少傾向で推移しており、まんのう町においても、減量化・資源化の一層の推進が求められる。

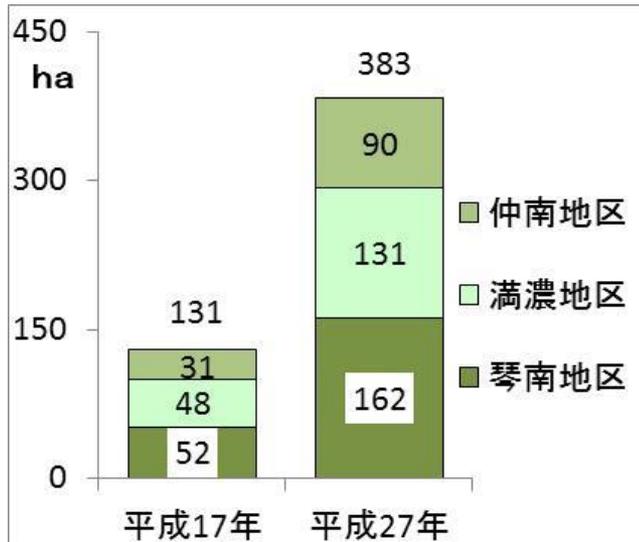
次期10年の課題

- 資源循環型社会づくりの一層の推進
- (1) 少ないごみ排出量の維持
 - (2) バイオマス資源の有効活用 など

2 自然環境の保全

まんのう町は、大滝大川県立自然公園の指定を受けるなど、自然豊かな地域。その多くは、原始の自然ではなく、農林業とともに保全されてきた「里山」「二次林」。

まんのう町の耕作放棄地面積



資料:世界農林業センサス(まんのう町データブックより)

しかし、この10年、耕作放棄地や荒廃森林が一層増加し、適正管理が求められる。

中讃地域の河川のBODの状況

環境基準達成状況

環境基準類型 あてはめ水域	類 型	達成状況(年度)			BOD年平均値 (mg/L)		
		25	26	27	26	27	前年度 比較
青海川	A	○	○	○	1.0	0.9	横ばい
綾川	A	×	×	○	1.8	1.5	横ばい
大東川上流	B	×	×	○	5.2	2.8	改善
大東川下流	C	○	○	○	3.2	2.3	やや改善
土器川	A	×	○	○	1.5	1.4	横ばい
西汐入川	D	○	○	○	3.5	3.1	横ばい
金倉川	A	×	○	○	1.6	1.3	横ばい
桜川	B	×	×	○	2.7	2.1	やや改善
弘田川	A	×	×	×	2.5	2.0	やや改善

資料:香川県環境白書(平成28年度版)

まんのう町を流れる土器川、金倉川の水質は、おおむね環境基準を達成している状況。

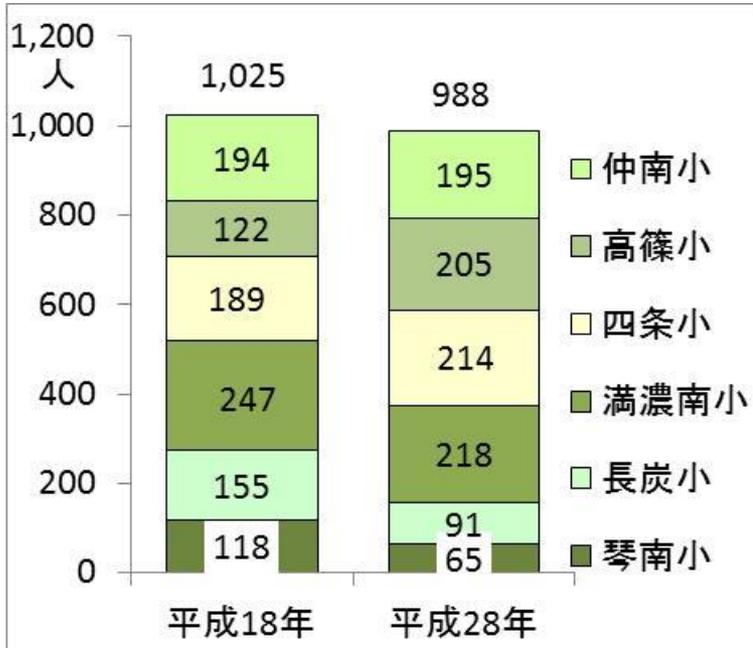
次期10年の課題

- 自然環境を積極的に保全する取り組みの推進
- (1) 耕作放棄地の解消
 - (2) 荒廃森林の解消
 - (3) 自然公園等の利用促進 など

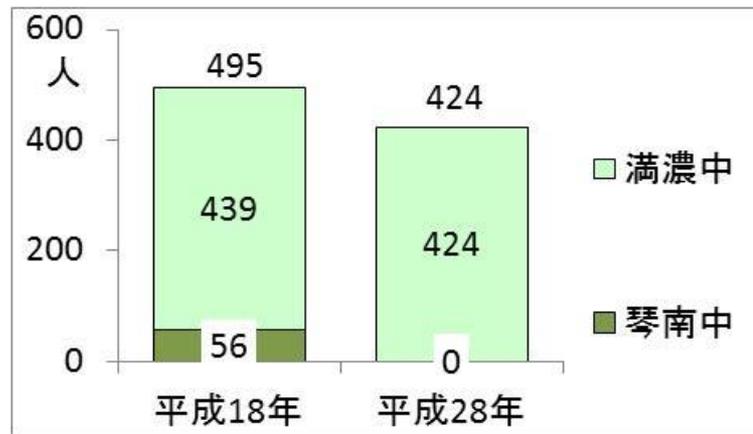
3 学校教育の充実

現行学習指導要領がめざす教育目標

小中学校の児童・生徒数

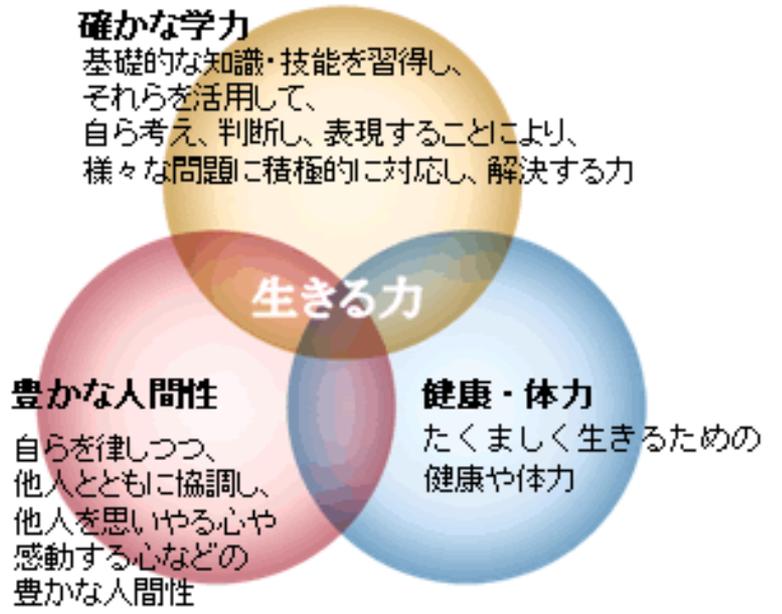


小学校児童数は10年で4%減。中学校生徒数は15%減。小学校は、高篠、四条、仲南は増。長炭小、琴南小の減が著しい。



琴南中は27年度末で廃校。1町1中学校体制に移行した。

資料：学校基本調査（主要施策の成果に関する報告書より）



学習指導要領に基づき、確かな学力、豊かな心、健やかな体を育む教育を推進。また、国の方針を受けて、校舎・体育館の耐震改修を進めるとともに、満濃中学校体育館・まんのう町立図書館をPFI方式により整備した。

- 次期10年の課題**
- 引き続き、学校、家庭、地域が連携し、生きる力を育む教育を推進
 - (1) 次期学習指導要領に基づく教育の充実
 - (2) 地域住民との一層の協働の推進
 - (3) こころの教育の推進
 - (4) 特別支援教育の一層の推進

4 生涯学習の支援

まんのう町立図書館の来館者数・図書貸出冊数



資料: 主要施策の成果に関する報告書

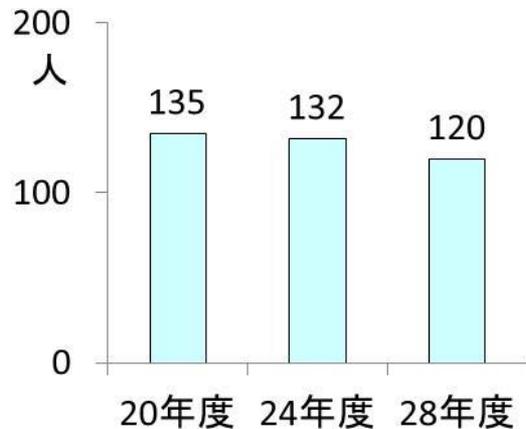


平成25年6月、町立図書館開館。明るい空間でゆったり読書を楽しめるほか、おはなし会など各種行事も盛んに行っている。



写真: まんのう町立図書館ホームページより

通学合宿事業の参加児童数



資料: 主要施策の成果に関する報告書

各公民館などを拠点に、生涯学習事業を展開。とりわけ、4～6年生がボランティアの協力で、1週間の共同生活を送る「通学合宿」は、家庭・学校・地域が連携した本町の個性ある生涯学習の取り組みとして定着。

次期10年の課題

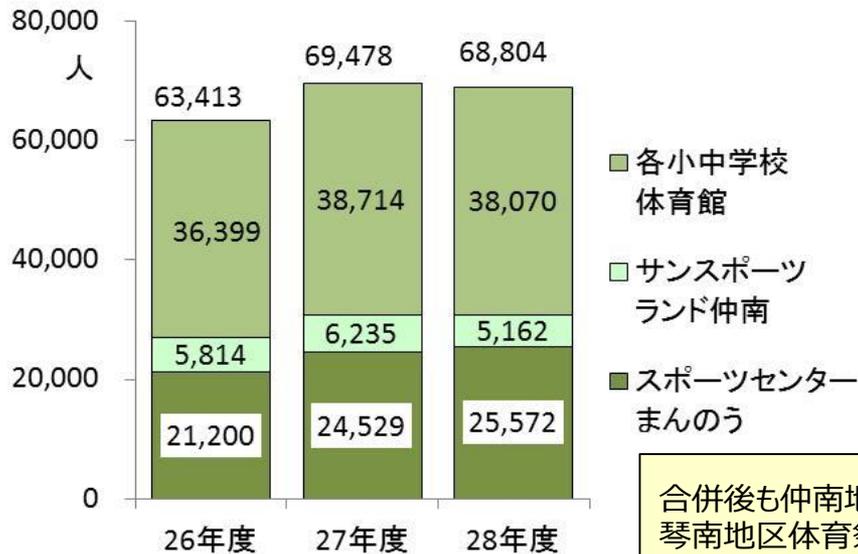
一層の活性化を図り、まちづくりに活かす

- (1) 地域の協力を得ながら各事業を引き続き継続
- (2) 参加していない人の参加を働きかける

5 スポーツ活動の支援

既存のサンスポーツランド仲南や各小中学校体育館などを活用し、生涯スポーツ活動が展開。平成25年4月にはスポーツセンターまんのうが開設。ミズノ(株)の運営により各種事業も充実。

各スポーツ施設の年間延利用者数



スポーツセンターまんのう



サンスポーツランド仲南



写真:まんのう町ホームページより

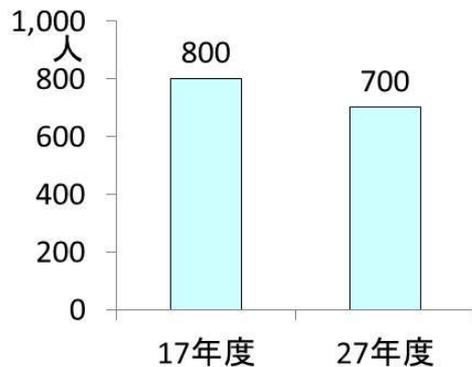
まんのう町平成27年度PTAソフトバレーボール大会



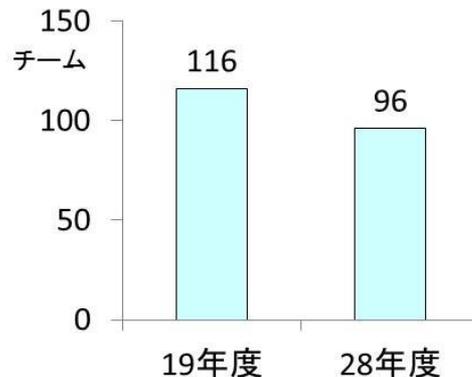
写真:仲南小ホームページより

合併後も仲南地区バレーボール大会や琴南地区体育祭は継続。人口が減少する中、スポーツを通じた地域活性化に寄与。

琴南地区体育祭の参加者数



仲南地区バレーボール大会の参加チーム数



資料: 主要施策の成果に関する報告書

次期10年の課題

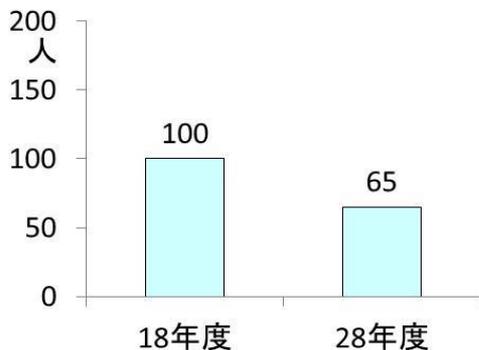
一層の活性化を図り、まちづくりに活かす

- (1) 地域の協力を得ながら各事業を引き続き継続
- (2) 参加していない人の参加を働きかける

6 人権尊重社会の実現

7 男女共同参画の推進

町主催の人権講座の参加者数



資料: 主要施策の成果に関する報告書
(18年度は「人権啓発講演会」、28年度は「人権・同和研修会」)

長尾会館の来館者数

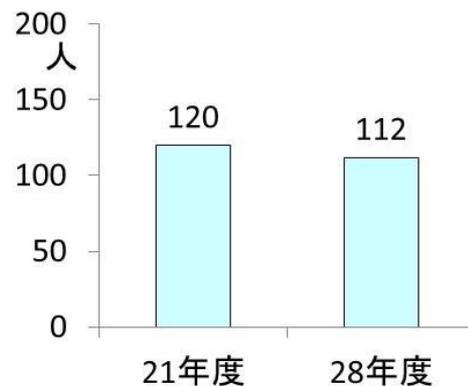


資料: 主要施策の成果に関する報告書

「人権尊重社会の実現」にむけては、人権対策課を中心に、町主催の人権講座、長尾会館の運営など各種事業を継続。また、教育委員会においても人権教育を継続実施。

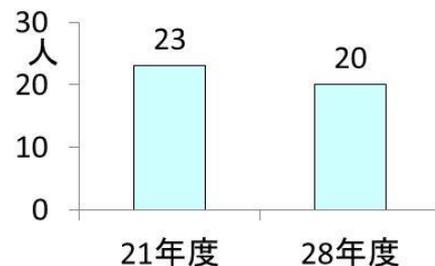
「男女共同参画の推進」にむけて、平成20年度に男女共同参画プランを作成。平成25年度に改訂。プランに基づき、男女共同参画推進講演会、まんのう町女性議会などの取り組みを継続推進。生涯学習の分野でも、まんのう中央女性大学、ことなみ暮らしのセミナー、仲南中央婦人学級などを推進。

男女共同参画推進講演会の参加者数



資料: 主要施策の成果に関する報告書
(21年度は高松市副市長 岡内須美子氏、28年度は元香川県公安委員会委員長 横井久子氏)

まんのう町女性議会の出席委員数



資料: 主要施策の成果に関する報告書

次期10年の課題

人権尊重・男女共同参画を継続的に進める

- (1) 部落差別解消推進法（平成28年）の啓発
- (2) 女性活躍推進法施行、配偶者暴力防止法改正など近年の法制度改正への対応

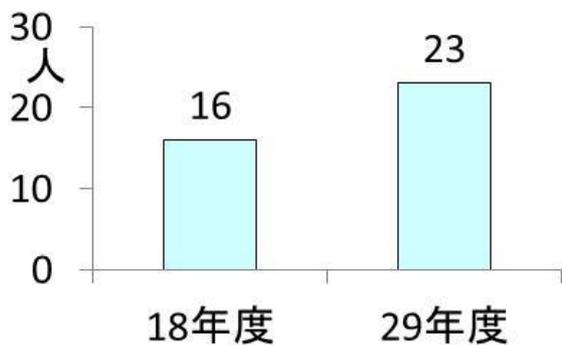
8 地域間交流・国際交流の推進

国際交流協会を中心に、国際交流事業を展開。シンガポールへの中学生海外派遣事業も継続実施。

ひまわり油を通じた地域間交流活動が進みつつある。

ひまわり油を通じた地域間交流活動

中学生海外派遣事業の参加児童数



29年度中学生海外派遣事業の行程

1日目 (8/17)	まんのう町～関西国際空港～シンガポール
2日目 (8/18)	現地中学校での交流会 現地の人と交流 (ホームステイ)
3日目 (8/19)	現地の人と交流 (ホームステイ)
4日目 (8/20)	現地の人と交流 (シンガポールの大学生に街を案内してもらう)
5日目 (8/21)	まんのう町帰着

資料: 広報まんのう29.11

資料: 主要施策の成果に関する報告書

英語キャラバン隊による学習活動(長炭小)



写真: 長炭小ホームページより

まんのう町国際交流協会が英語キャラバン隊を各学校に派遣。英語で「入国」し、お金を換金した後、その国のお土産を買う活動など、楽しみながら英語に親しむ活動を実践している。

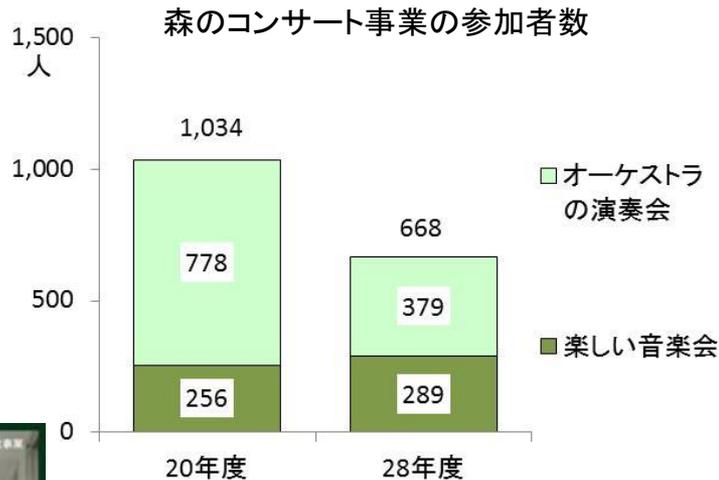
次期10年の課題

多様な分野で一層交流を進める

- (1) 国際交流協会の積極的な活動への支援
- (2) 外国語教育・国際理解教育の一層の推進
- (3) ひまわりを通じた地域間交流の充実

9 芸術・文化の振興

町民が優れた芸術・文化にふれる機会を確保するため、毎年、プロのオーケストラによる森のコンサート事業などを開催。近隣市町とともに、実行委員会方式による「かがわ・山なみ芸術祭」を開催。アートを通じた中山間地域の活性化にもつながっている。



資料：主要施策の成果に関する報告書

中世山岳仏教の一大拠点である中寺廃寺跡が平成20年に国史跡に指定。保存整備事業を進めた。

中寺廃寺の想像図



写真：まんのう町ホームページより

南ファミリー劇団の公演ポスター



写真：南ファミリー劇団 扇子家玉四郎さんのブログより

買田に芝居小屋を持つ「南ファミリー劇団」は、歌舞伎に源流を持つ「大衆演劇」のプロ劇団。町の芸術・文化振興にも寄与している。

次期10年の課題

芸術・文化のさらなる振興

- (1) 歴史文化の保存と継承
(系統的な展示・収蔵の実施など)
- (2) 芸術・文化活動の促進



10 健康づくりの推進

平成28年度に策定した「まんのう健やかいきいきプラン（第2次）」によると、まんのう町は平均寿命、健康寿命ともに、県平均より低位。

標準化死亡比をみると、男女とも、急性心筋梗塞、肺炎による死亡が、また、男性では肺がんによる死亡が顕著に多い。急性心筋梗塞による死に至らないために、虚血性心疾患の重度化予防が重要。また、呼吸器系の疾患予防のため、禁煙が重要。

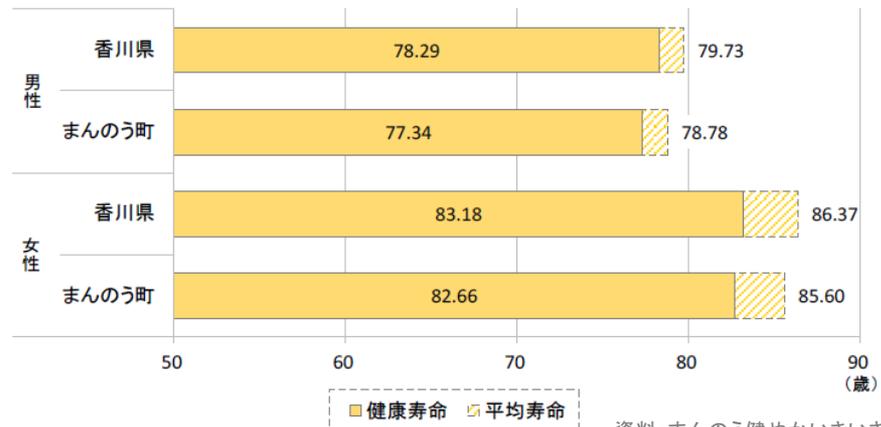
男女の不慮の事故、男性の自殺も目立って多い。急性心筋梗塞や呼吸器系疾患の要因ともなりうるストレス予防が重要。

まんのう町の健康づくりの拠点 かりん健康センター



写真：まんのう町ホームページより

【平成22年平均寿命・健康寿命】



資料：まんのう健やかいきいきプラン(第2次)より

【標準化死亡比（平成20年～平成24年平均）】

	まんのう町		香川県	
	男性	女性	男性	女性
全死因	105.0	98.4	96.6	98.6
悪性新生物	98.7	79.7	92.6	94.5
胃	89.7	81.2	99.6	103.8
大腸	81.4	72.2	81.4	88.0
肝及び肝内胆管	121.2	54.9	98.8	108.6
気管、気管支及び肺	130.1	91.5	102.3	94.7
心疾患（高血圧性を除く）	122.3	129.9	106.7	105.5
急性心筋梗塞	187.8	181.0	84.4	100.6
心不全	78.9	104.2	79.1	83.8
脳血管疾患	70.6	74.0	85.2	85.6
脳内出血	84.5	82.1	78.7	82.8
脳梗塞	58.9	68.3	89.5	87.2
肺炎	110.8	115.3	86.2	93.4
肝疾患	71.1	112.4	92.4	107.7
腎不全	92.6	78.1	104.6	108.0
老衰	52.6	58.6	99.8	92.7
不慮の事故	171.6	122.8	108.4	103.8
自殺	152.8	-	92.7	86.1

参照：人口動態統計特殊報告

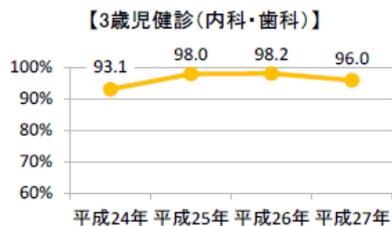
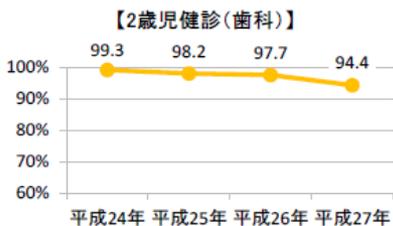
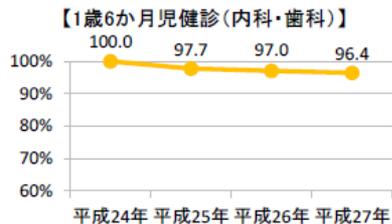
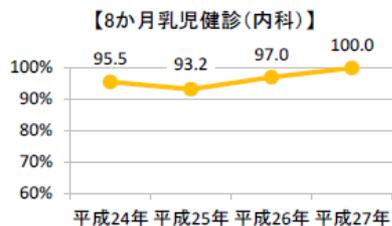
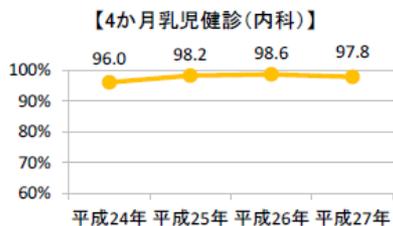
資料：まんのう健やかいきいきプラン(第2次)より

10 健康づくりの推進（続き）

保健事業の取り組みは順調で、特定健診の受診率・特定保健指導の実施率は全国平均や県平均より高位で推移。（データは省略するが）がん検診の受診率も高位。乳幼児健診の受診率も高位。

まんのう町の保健事業は、成人では、ハイリスク者対策としての特定保健指導やまんのう健幸塾（糖尿病等生活習慣病予防教室）、一般住民向けの地区ごとの健康づくり推進事業に特徴があり、母子では、離乳食教室などの各種事業を母子愛育会の協力を得ながら、きめ細かく実施しているところに特徴がある。

乳幼児健診の受診率

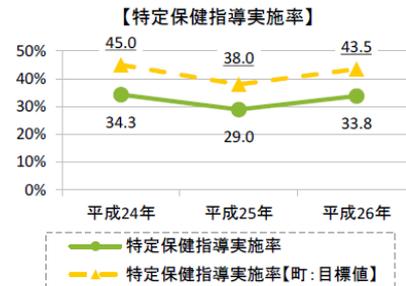
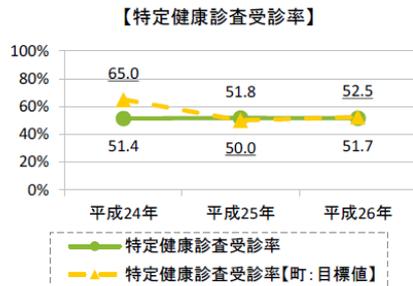


資料：まんのう健やかいきいきプラン(第2次)より

参照：かがわの母子保健

特定健診の受診率・特定保健指導の実施率

注記：特定健診受診率(平成25年) 国の平均値 34.3% 香川県の平均値 39.8%
 特定保健指導実施率(平成25年) 国の平均値 23.7% 香川県の平均値 21.7%



参照：特定健診・特定保健指導実施結果報告、特定健康診査等実施計画、香川の保健統計指標

資料：まんのう健やかいきいきプラン(第2次)より

26年度の離乳食教室



次期10年の課題

生活習慣病予防と疾病の早期発見、子育て不安の解消

- (1) 運動の奨励・食習慣改善の奨励
- (2) 成人疾病の早期発見。
内臓脂肪症候群対策の継続推進
- (3) 母子疾病の早期発見。育児不安の軽減。発達支援の強化

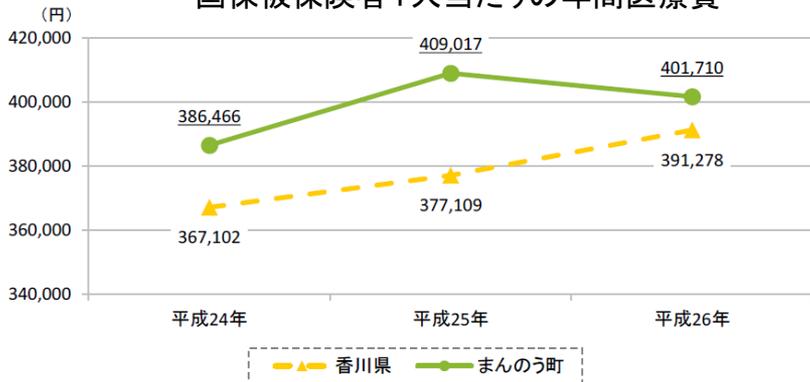
写真：まんのう町子育てポータルサイトより

11 地域医療体制の充実

3市3町で二次・三次医療を確保。

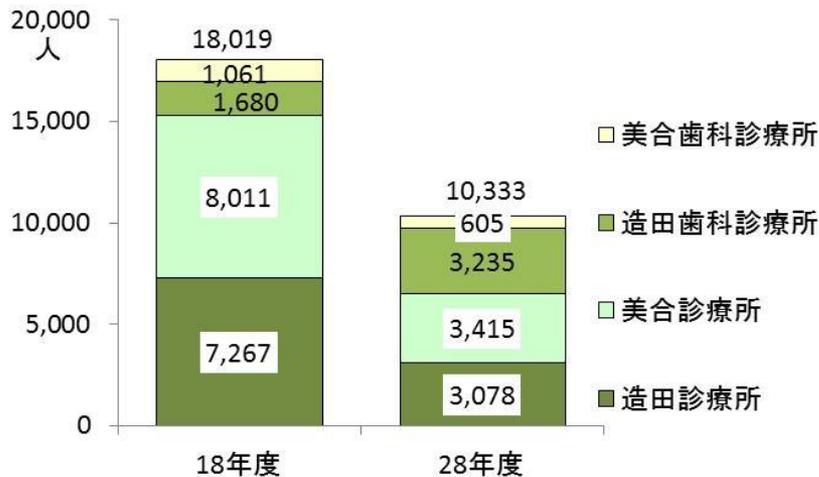
1人当たり医療費は県平均より高位に推移。

国保被保険者1人当たりの年間医療費



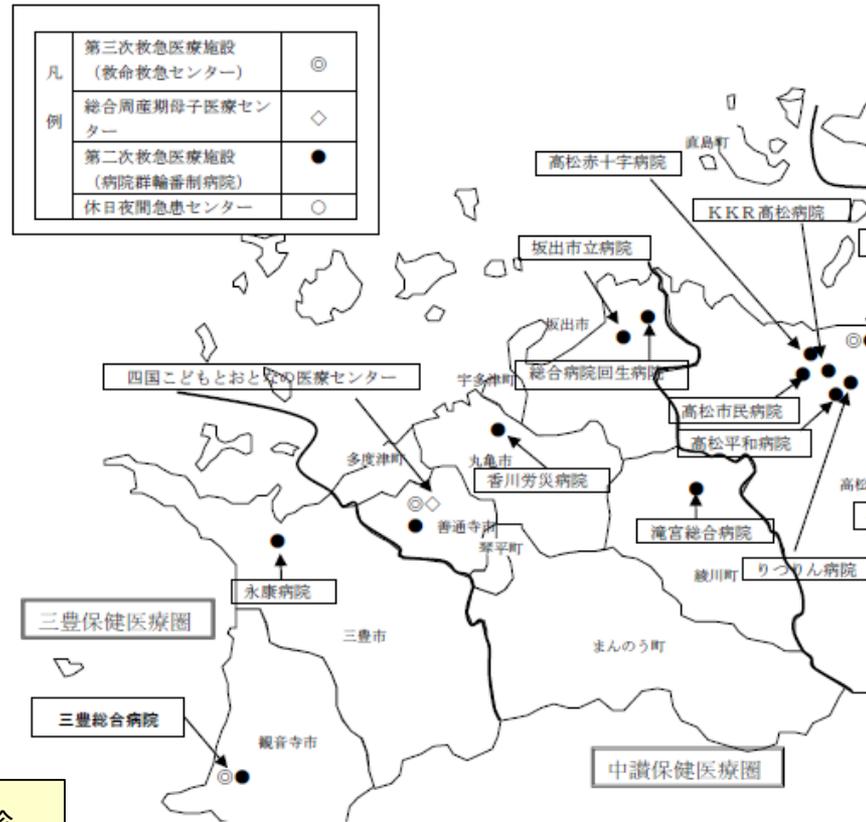
参照：香川県国民健康保険病類統計総合資料（平成26年度）
資料：まんのう健やかいきいきプラン（第2次）より

町立診療所の年間延受診者数



資料：主要施策の成果に関する報告書

二次・三次医療機関の立地



町立診療所の受診者数はこの10年で大幅に減少。

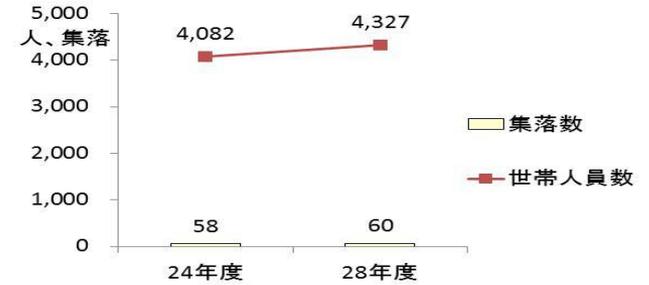
- 次期10年の課題
- 地域医療の確保
- (1) 中讃保健医療圏での二次・三次医療の確保
 - (2) 医療費の削減
 - (3) 過疎地域での医療の確保

12 地域福祉の推進

見守り 声かけ ほっと安心事業の実施集落数・実施世帯の人員数

本町の地域福祉は、町社会福祉協議会を中心に、各地区の協力を得ながら展開。近年は、平成20年に「命見守りほっと安心のモデル集落事業」として開始し、平成24年から本格化した「見守り 声かけ ほっと安心事業」を目玉事業として展開。

他にも、小地域ふれあいサロン、つどいのひろばひまわり（子育て支援事業）、給食サービス（仲南地区。月4回）、3地域の地域福祉推進委員会など、様々な活動を展開。



資料：社協だよりまんのうより

・事業集落説明会 5月27日
・見守り声かけほっと安心事業研修会 11月25日

事業内容	実施集落数	参加者数
4 福祉について理解を深めるための研修会及び情報交換会の開催事業	69	5,193人
3 地域福祉マップ作成・更新事業	10	214人
2 見守り・声かけ・支え合い帯の編成事業	33	見守る人 延758人 見守られる人 延207人
1 集落内での見守り・声かけ活動事業（必須事業）	60	1,370世帯 4,327人

（事業別集落数）

地域	助成集落名
仲南	14集落 野口、春日下、照井、追上上、追上中、宮田、買田西側上、佐文尾郷下、佐文中央、佐文北山西、佐文北山東、佐文峠、買田高座、生間
高篠	7集落 池田、下分、谷山内、田中、中所、西高篠宮東、池田西
四條	10集落 大橋中東、大橋（3班）、大橋（4班）、大橋（5班）、生稻新道西、生稻中西、生稻中東、川滝、大橋東1、生稻下
神野	3集落 池下、上真野、西村
吉野	2集落 木の崎上、旭東
長炭	12集落 上種子、下種子、平山南、平野、大向中、大向下一、常包、大谷川、檉林、東佐岡、田淵、長尾天神
琴南	12集落 城山、旭町、中央、新生下、仲野、長谷野口上、野口下、焼尾、堀田、さくら、明神

（地区別集落名）

●見守り 声かけ ほっと安心事業（町受託事業）
助成集落 60集落 1、370世帯 4、327人

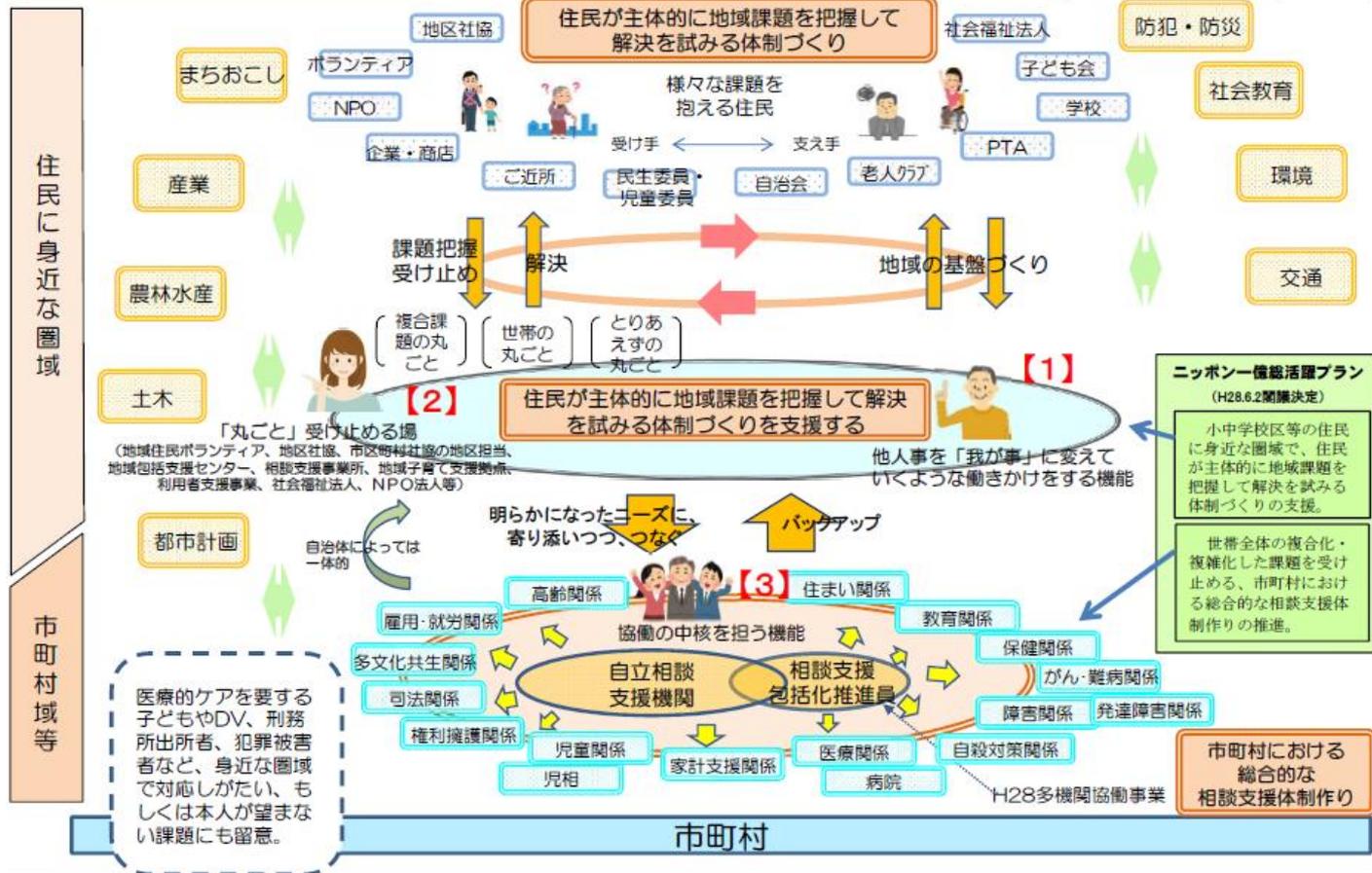
平成28年の見守り声かけほっと安心事業

資料：社協だよりまんのう29.7

12 地域福祉の推進（続き）

地域における住民主体の課題解決力強化・包括的な相談支援体制のイメージ

第6回地域力強化検討会 参考資料
平成29年2月28日 1



国が考える「我が事・丸ごと地域共生社会」のイメージ

資料：厚生労働省「第6回地域力強化検討会」

次期10年の課題

国では、「我が事・丸ごと地域共生社会」づくりを進めようとしており、まんのう町においても取り組んでいくことが期待される。

- 誰もが地域で自立して安心して暮らせるまちづくりの推進
- (1) まんのう版「我が事・丸ごと地域共生社会」づくり
 - (2) 社会福祉法人の地域貢献の促進

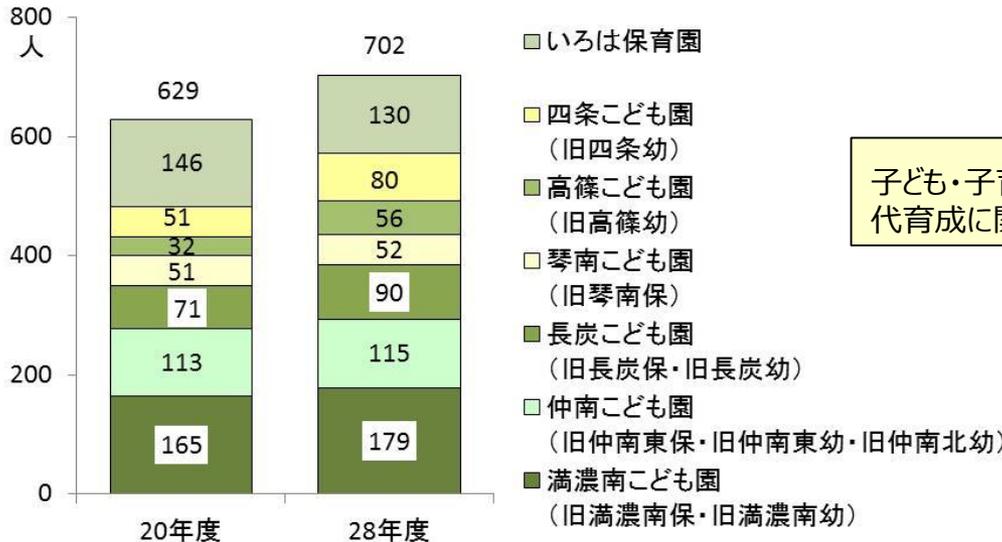
13 次世代育成の支援

平成27年度から子ども・子育て支援法が施行。幼保一元化、「サービス給付」のしくみが導入された。

まんのう町では、元々、旧琴南町は公立保育所で0～5歳児を、旧満濃町と旧仲南町は公立保育所で0～3歳児を、公立幼稚園で4～5歳児を受け入れていたが、順次、こども園に一本化。ただし、私立のいろは保育園は、保育園として一貫して0～5歳児を受け入れ。

平成28年度は平成20年度に比べ、児童数は約1割増。満濃地区の増加が著しい。

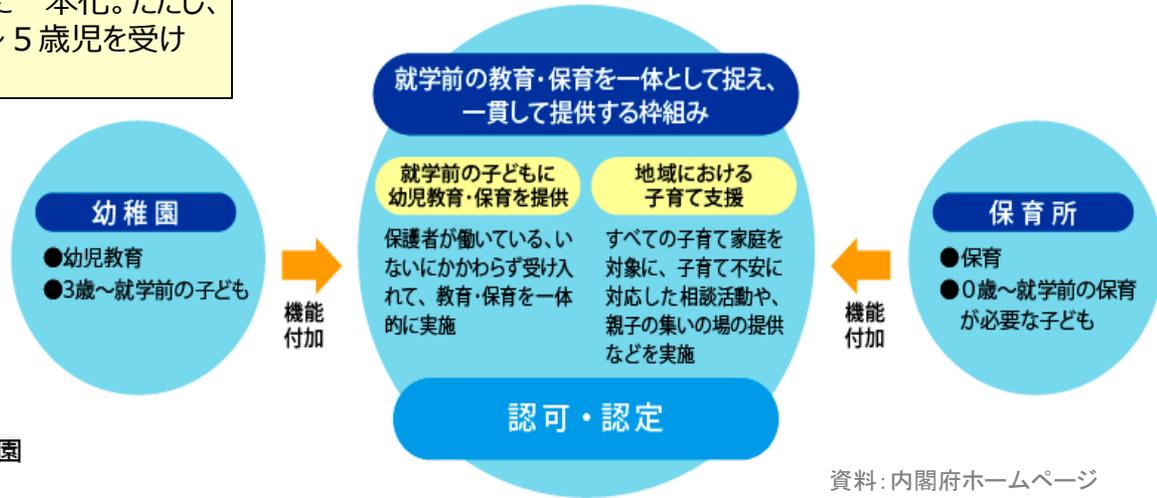
保育園・幼稚園・こども園の児童数



資料: 主要施策の成果に関する報告書

国の認定こども園制度を導入したのは、仲南こども園のみ。他は、幼保一元化を実現するために、町で制度化したこども園。

認定こども園のしくみ



子ども・子育て支援事業計画に基づき、子ども・子育て支援、次世代育成に関する各種施策を推進。

次期10年の課題

地域ぐるみ子育てし、親と子の健全な育成を図る

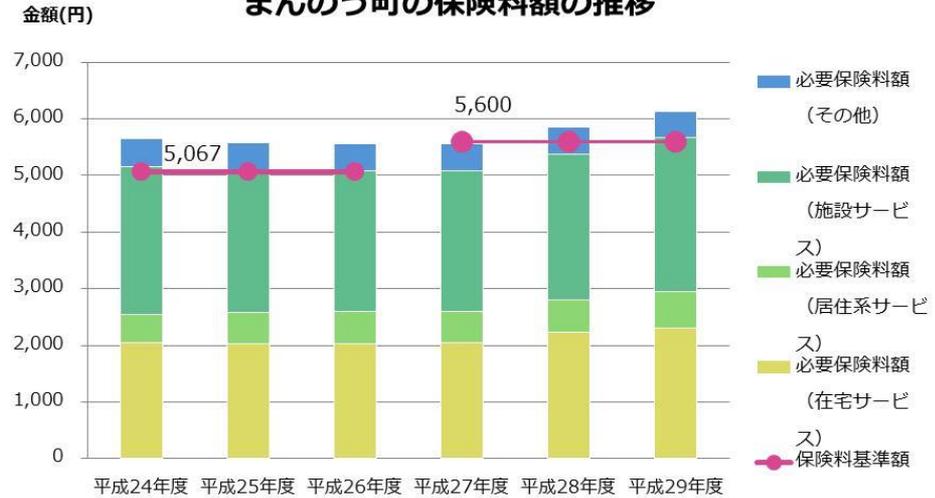
- (1) 充実した子育て支援サービスを引き続き継続
- (2) 早期教育センター たむを中心とした発達支援の一層の充実
- (3) 結婚・出産の奨励。不妊治療支援の推進

14 高齢者支援の充実

介護保険事業は、3年を1期とする介護保険事業計画に基づき推進。保険者として給付管理を行っている。第1号被保険者の介護保険料基準額は、第5期（平成24～26年度）が月額5,067円、第6期（平成27～29年度）が5,600円で、実際のサービス利用は、想定した給付費見込みを上回って推移している。県内3位、全国でも155位の高水準の利用。

町内の介護事業所の立地は下のマップのとおり。要介護状態になっても安心して地域で暮らしていけるよう、一通りのサービスが提供される状態にある。

まんのう町の保険料額の推移



香川県内	3番目	17保険者
全国	155番目	1,576保険者

資料：厚生労働省「地域包括ケア見える化システム」

まんのう町 医療と介護連携マップ



平成18年度から町に地域包括支援センターを設置し、要介護認定に至る手前の段階の一次・二次予防対象者に対して、介護保険の財源を使った介護予防事業を推進。また、総合相談や虐待予防、認知症予防などを総合的に推進。平成29年度からは、従来の二次予防対象者と介護保険の要支援1・2の認定者を対象に、介護予防・日常生活支援総合事業を開始。

次期10年の課題

高齢者が安心して
いきいき暮らせるまちづくり

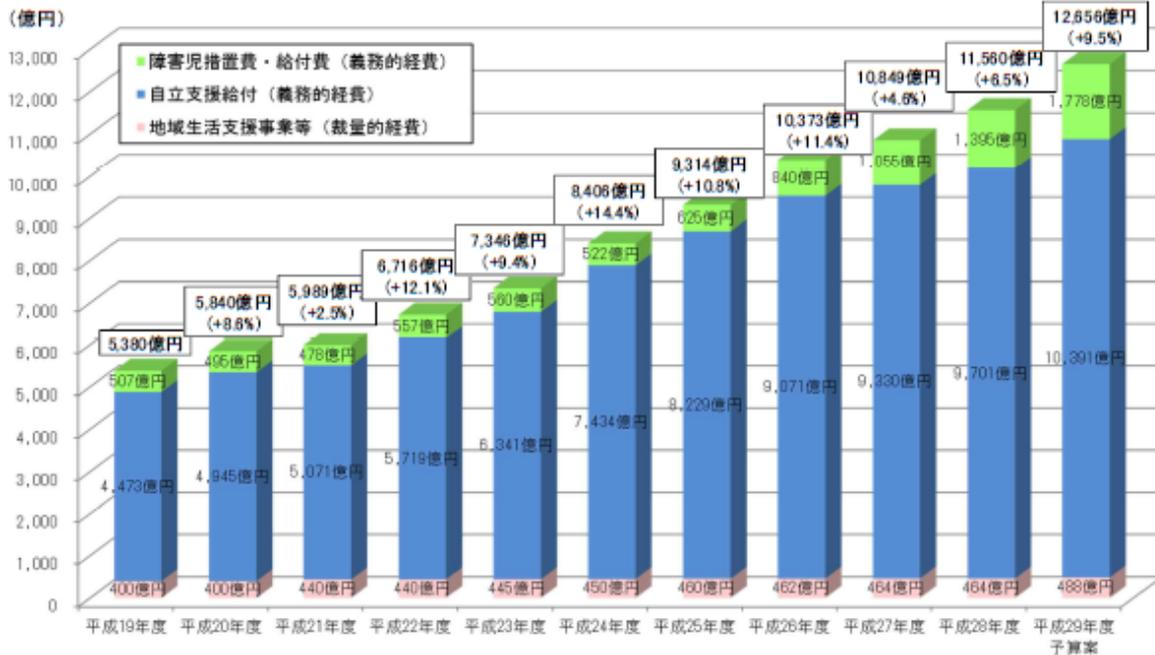
- (1)地域包括ケアの一層の推進
- (2)健康づくり・生きがいの促進による介護予防・重度化予防の推進

15 障がい者福祉の充実

平成18年に障害者自立支援法による障害福祉サービスの提供が開始され、10年間で国の財政支出は倍増。
 町内には、障害福祉サービス事業所はないが、近隣市町の事業所を利用し、本町でも自立支援給付費等は平成20年度の約2億円から平成28年度には約3.4億円と大幅増。
 今後も、各事業所と連携しながら、ニーズに応じてサービスを提供していく必要がある。
 また、平成28年度に開設した早期支援教育センターたむを拠点に、発育・発達に不安を持つ子どもたちの療育・発達支援を強化していくことも期待される。

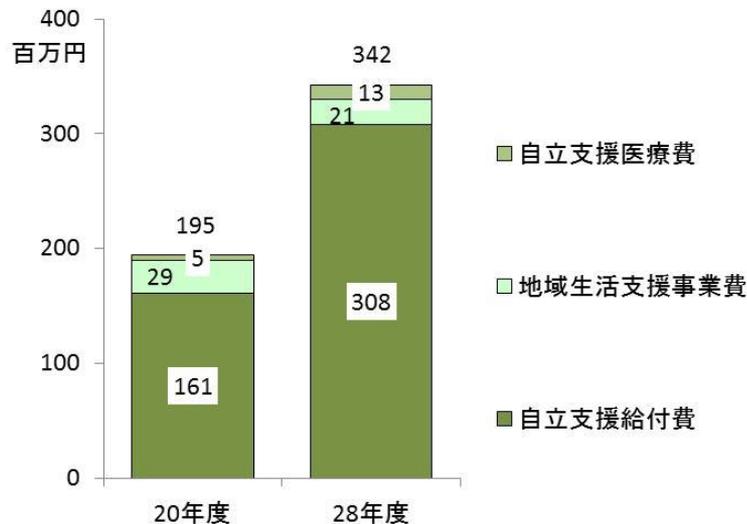
障害福祉サービス等予算の推移

障害福祉サービス関係予算額は10年間で2倍以上に増加している。



資料：厚生労働省

まんのう町の障がい者福祉関係事業費の推移



資料：主要施策の成果に関する報告書

早期支援教育センター たむ 開所

子どもの健やかな成長をサポートする「早期支援教育センターたむ」が10月26日に開所しました。たむでは、専門的な知識をもったコーディネーターが常駐し、成長発達上のつまずきや困難のある乳幼児から中学生までの保護者の方に対して、発達に関する心配ごと（発達相談）や就学・進級・進学に関すること（就学時巡回相談・進路相談）などの相談支援をおこないます。併せて、担任の先生方にも相談支援や研修会を実施することにより、指導・支援のスキルアップにも貢献していきます。



当施設は、一人ひとりの子どもの個性が輝く町づくりのために設立された、町独自のセンターです。

子ども一人ひとりの様々な「夢」の実現を願って
愛称を「たむ(多夢)」としました。



【問い合わせ先】早期支援教育センター たむ まんのう町宮田751番地4（旧仲南北幼稚園跡地）
☎ (75) 4022 受付時間/9:00~17:00

資料：広報まんのう

次期10年の課題

障がい者が自立して
いきいきと暮らせるまちづくり

(1) きめ細かな支援の継続 (2) 発達支援の強化

16 低所得者福祉・勤労者福祉の充実

17 社会保障の安定化

国民医療費は、この10年間も着実に増加し、40兆円規模に。その3分の1を後期高齢者医療費が占める。20年度から、老人保健制度に変わり、後期高齢者医療制度が導入され、財政運営が都道府県化。これにより、まんのう町の関連会計の歳出規模は縮小。

一方、まんのう町の国民健康保険給付費、介護給付費は10年間で着実に増加。しかし、給付適正化に努めた結果、比較的伸びは緩やか。

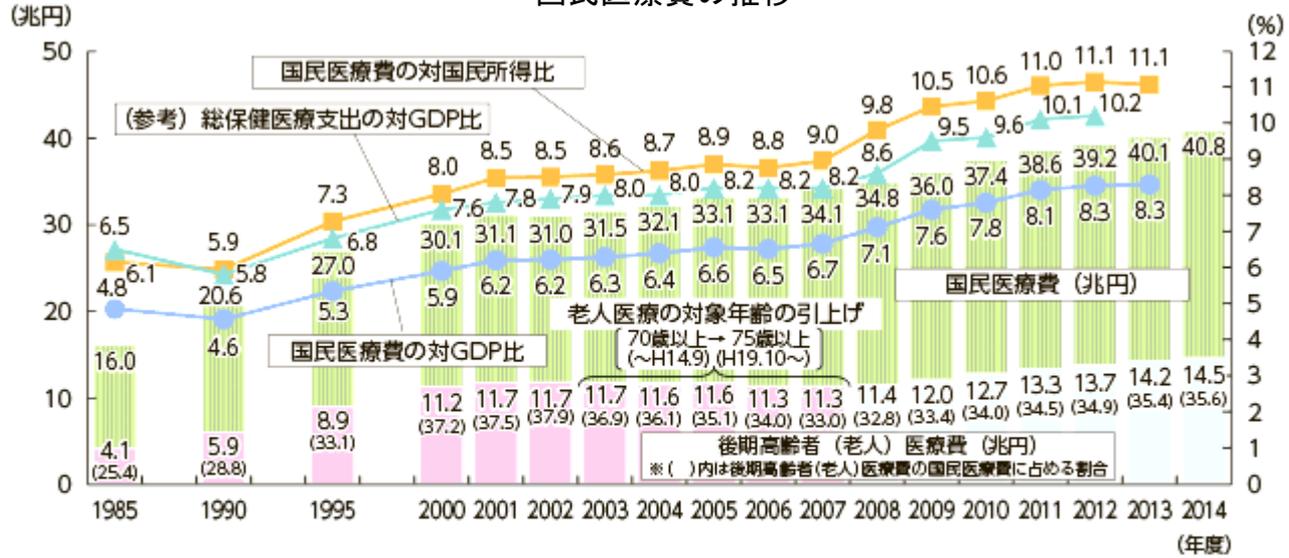
平成30年度から、国民健康保険の財政運営の都道府県化が予定されている。

まんのう町の医療・介護給付関連特別会計の歳出額の推移(百万円)

	20年度	28年度
国民健康保険	2,231	2,462
後期高齢者医療・老人保健	540	247
診療所運営	122	107
介護保険	1,897	2,388
合計	4,790	5,204

資料：主要施策の成果に関する報告書

国民医療費の推移



(診療報酬改定) 0.2% (主な制度改正)
 ▲2.7% ・介護保険制度施行・高齢者1割負担導入 (2000)
 ▲1.0% ・高齢者1割負担廃止 (2002)
 ▲3.16% ・被用者本人3割負担等 (2003)
 ▲0.82% ・現役並み所得高齢者3割負担等 (2006)
 0.19% ・未就学児2割負担 (2008)
 0.004%
 (実績見込み) 0.10% ・70-74歳2割負担 (2014)

資料：平成28年版厚生労働白書

年金は、受給資格期間が25年から10年に短縮されたことの周知が必要。

次期10年の課題

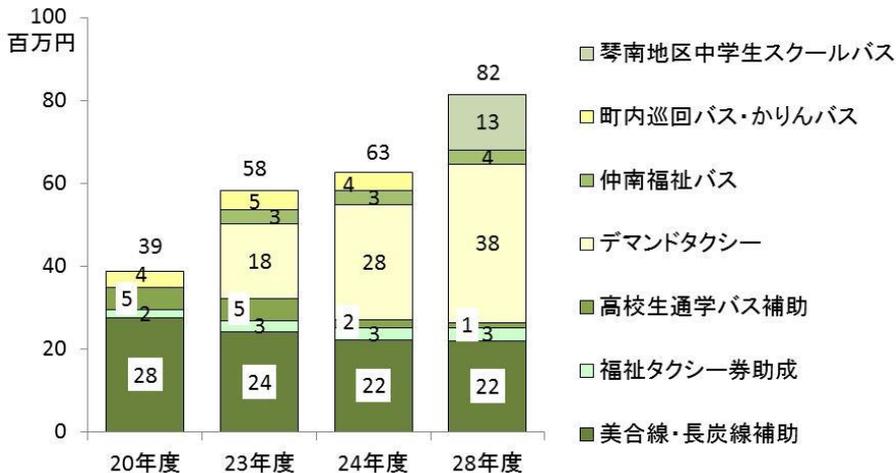
制度の安定した運営

- (1) 国民健康保険・後期高齢者医療保険運営の安定化 (国保健康づくり事業の推進など)
- (2) 年金相談対応等の充実
- (3) 介護保険運営の安定化
- (4) 低所得者の自立の支援

18 交通網の整備・充実

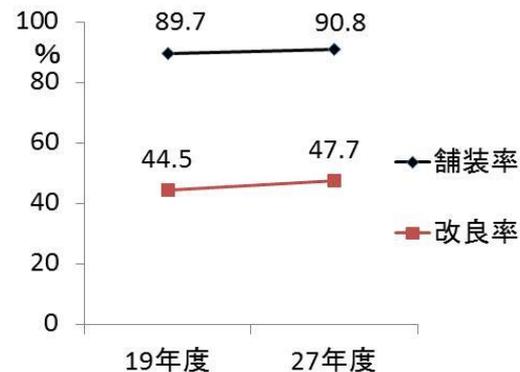
町道の舗装率、改良率は年次整備により改善。しかし、この間の主要課題は、新規投資から更新投資に軸足が移行。橋梁長寿命化などを順次進めていく必要がある。

まんのう町の公共交通関連支出の推移



資料: 主要施策の成果に関する報告書

町道の舗装率・改良率の推移



資料: まんのう町データブック

公共交通対策は、平成21年からデマンドタクシーを導入するなど、様々な施策を展開。町民の利便の向上に努めている。

あいあいタクシー(デマンドタクシー)の案内



予約センター
電話(58)8080

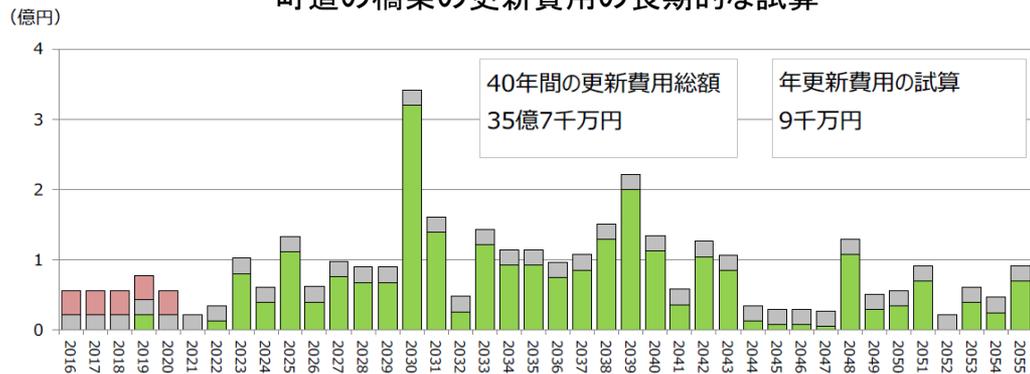
- 満濃地区以外で乗降可能な場所は以下のとおりです。
琴南支所・西村ジョイ・永生病院・五采眼科医院(琴平町)
(上記以外の琴南地区・仲南地区へは乗り継ぎが必要)
- その日の予約状況によりお迎えの時間が変わります。
詳しくは予約センターにお問い合わせください。



利用時刻の30分前までに予約してください
第1便のみ前日までに予約してください。

資料: まんのう町商工会ホームページ

町道の橋梁の更新費用の長期的な試算



資料: まんのう町公共施設等総合管理計画

次期10年の課題

道路・橋梁の長寿命化と公共交通の確保

- (1) 道路・橋梁の長寿命化の推進
- (2) 公共交通の維持・確保

19 生活基盤の整備

水道は、普及率は向上するも、有収水率があまり改善していない。老朽管の更新等を引き続き推進し、安定供給・安定経営に努めることが求められる。

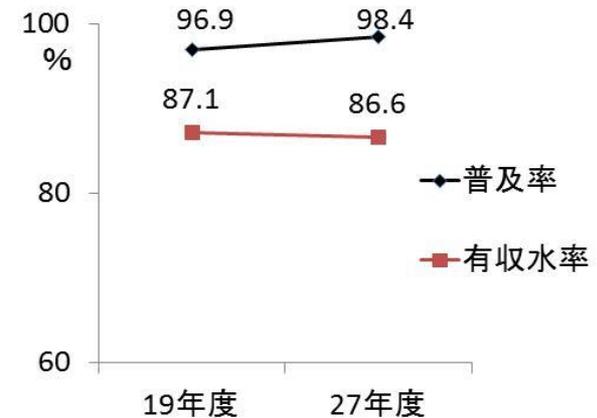
下水道は、平成28年3月時点の汚水処理人口普及率が68.1%と県平均74.3%を下回る。全国的にはこの10年で10%程度上昇し、約9割となっており、まんのう町でも一層の普及を促進する必要がある。

<2-9>生活排水処理施設の普及状況（平成28年3月31日現在）【第5章第3節】〔環境管理課〕

市町名	住民基本台帳人口 (人)	汚水処理人口 (人)	汚水処理人口普及率 (%)	下水道		農業・漁業集落排水		合併処理浄化槽		コミュニティ・プラント	
				普及人口 (人)	普及率 (%)	普及人口 (人)	普及率 (%)	普及人口 (人)	普及率 (%)	普及人口 (人)	普及率 (%)
高松市	427,400	364,711	85.3	270,253	63.2	172	0.0	94,211	22.0	75	0.0
丸亀市	113,586	79,828	70.3	50,385	44.4	2,941	2.6	26,502	23.3		
坂出市	54,595	28,845	52.8	13,008	23.8			15,837	29.0		
普通寺市	32,717	28,449	87.0	19,034	58.2	451	1.4	8,533	26.1	431	1.3
観音寺市	61,896	35,593	57.5	11,760	19.0	693	1.1	23,140	37.4		
さぬき市	50,691	44,207	87.2	23,690	46.7	3,399	6.7	17,118	33.8		
東かがわ市	32,218	21,828	67.8	572	1.8	5,878	18.2	15,378	47.7		
三豊市	67,883	36,904	54.4			2,777	4.1	34,127	50.3		
土庄町	14,633	5,069	34.6			363	2.5	4,706	32.2		
小豆島町	15,420	7,021	45.5					7,021	45.5		
三木町	28,603	12,591	44.0			654	2.3	11,937	41.7		
直島町	3,144	3,097	98.5	2,939	93.5			158	5.0		
宇多津町	18,439	18,012	97.7	16,264	88.2			1,748	9.5		
綾川町	24,657	18,062	73.3	9,504	38.5	132	0.5	8,426	34.2		
琴平町	9,505	6,924	72.8	4,475	47.1			2,449	25.8		
多度津町	23,754	17,530	73.8	14,503	61.1			3,027	12.7		
まんのう町	19,365	13,182	68.1	2,390	12.3	503	2.6	10,289	53.1		
県計	998,506	741,853	74.3	438,777	43.9	17,963	1.8	284,607	28.5	506	0.1

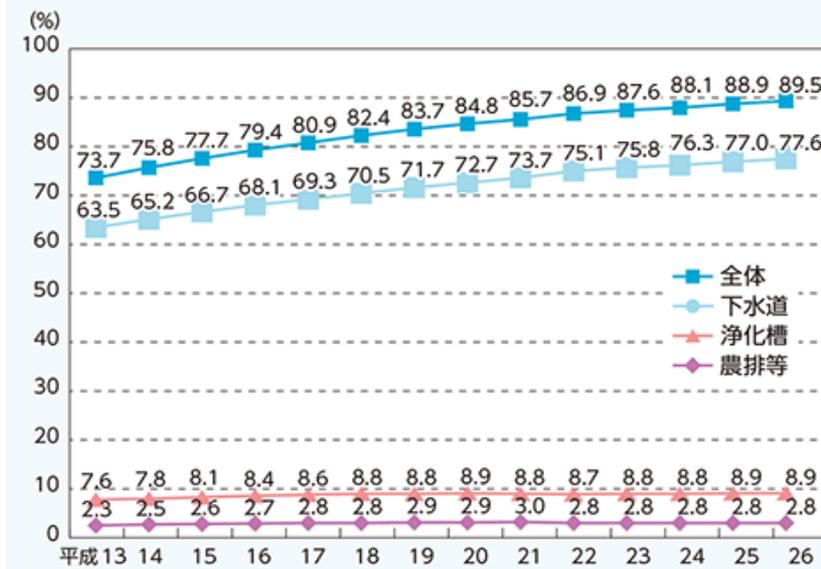
資料香川県環境白書

水道の普及率・有収水率の推移



資料:まんのう町データブック

図4-4-3 汚水処理人口普及率の推移



資料:平成28年版環境白書・循環型社会白書・生物多様性白書

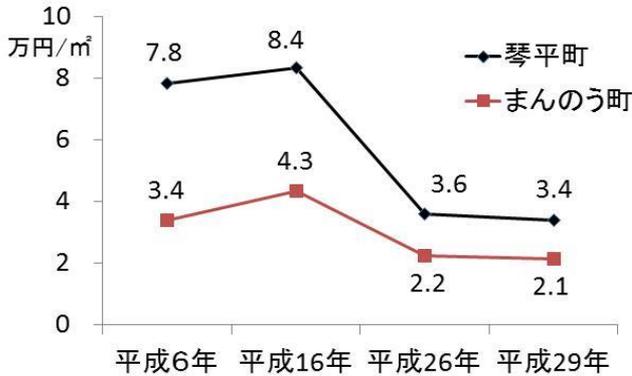
次期10年の課題

水の安定供給、排水の適切な浄化

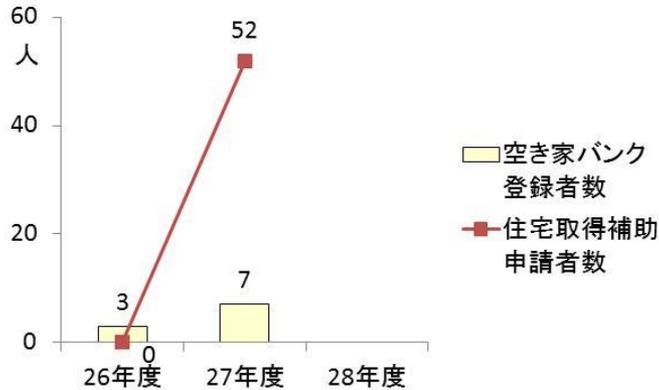
- (1) 水道の安定供給と健全な経営
- (2) 生活排水処理率の一層の向上

20 住環境の整備

まんのう町と琴平町の公示地価の総平均の推移



空き家バンク登録者数と若者住宅取得補助申請者数の推移

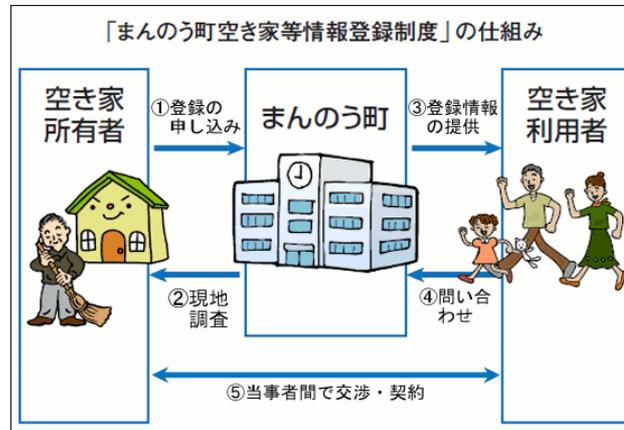


資料：まんのう町まち・ひと・しごと創生総合戦略PDCAマネジメント報告書

町の住宅施策としては、公営住宅の管理や戸建て住宅向けの中山団地の宅地分譲を長く行ってきたが、近年は、それらに加え、空き家バンクの運用や若者住宅取得補助を実施。若者定住に力を入れている。

公示地価は低減傾向で推移。このことは、土地所有者にとっては資産の減少を意味し、町財政にとっても固定資産税の減収につながる。一方、土地を求める層にとっては、安く購入し、維持できることを意味し、地価を理由とした近隣市町から転入の動きも現に起こっている。

空き家等情報登録制度



若者住宅取得補助事業



まんのう町に住もう！
マイホームを持とう！

転入者と若者のマイホーム取得を応援します！

Have a house of one's own!

まんのう町若者住宅
取得補助事業

補助金
最大 150 万円
条件により異なります



あっそうだ・・・
まんのうに住もう！
文化と自然に恵まれた、子育て支援の充実したまち
「まんのう町」に定住しませんか？

manno-town



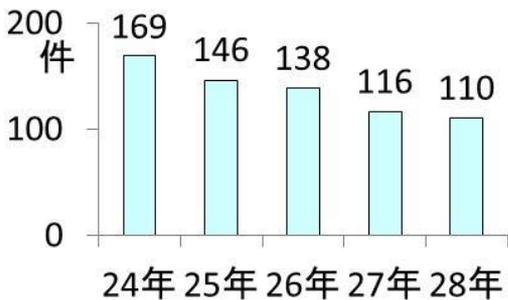
〒766-8503
香川県仲多度郡まんのう町吉野下430番地
まんのう町企画観光課 地方創生推進室
TEL 0877-73-0106 FAX 0877-73-0112

次期10年の課題

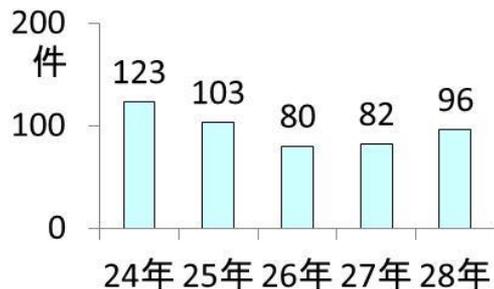
- 良好な住生活の確保と移住・定住の促進
- (1) 公営住宅の適正管理
 - (2) 住宅取得支援の推進
 - (3) 空き家の活用促進

21 生活安全対策の充実

まんのう町の交通事故発生件数



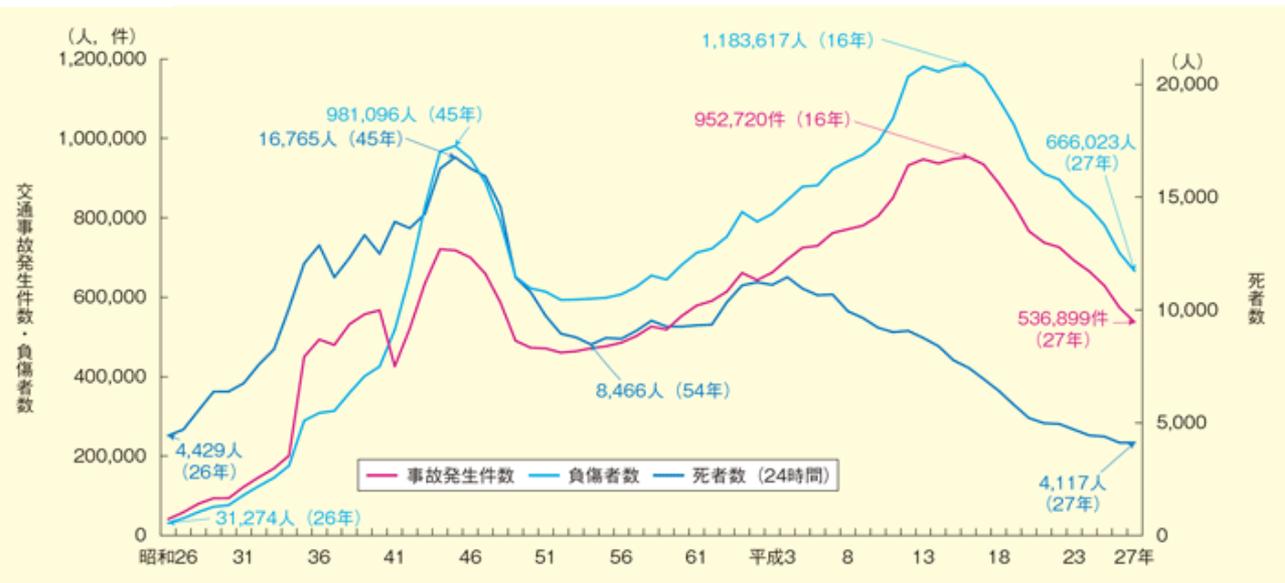
まんのう町の犯罪発生件数



資料:まんのう町データブック、100の指標からみた市町ほか

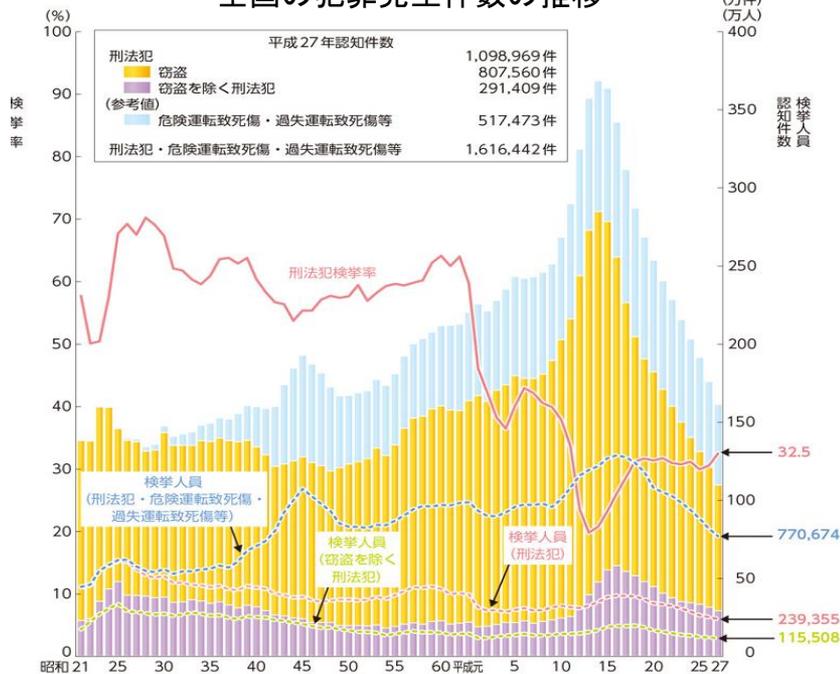
全国の交通事故発生件数の推移

道路交通事故による交通事故発生件数、死者数及び負傷者数



資料:平成28年交通安全白書

全国の犯罪発生件数の推移



資料:平成28年犯罪白書

まんのう町も全国も、交通事故・犯罪ともに減少傾向。啓発活動が効果を上げるとともに、道路の改良、防犯カメラなどの効果と考えられる。

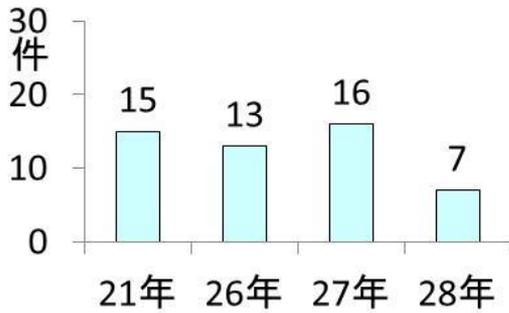
次期10年の課題

犯罪や事故のないまち

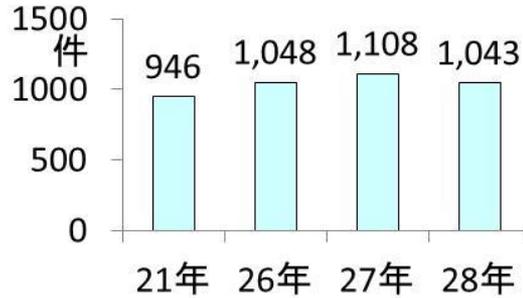
- (1)交通安全対策の推進
- (2)防犯体制の強化
(継続的な啓発活動の展開)

21 生活安全対策の充実（続き）

まんのう町の火災発生件数



まんのう町の救急出動件数



資料：仲多度南部消防組合消防年報ほか

毎年、10～20件程度の火災が発生。また、年間1,000件程度の救急出動。

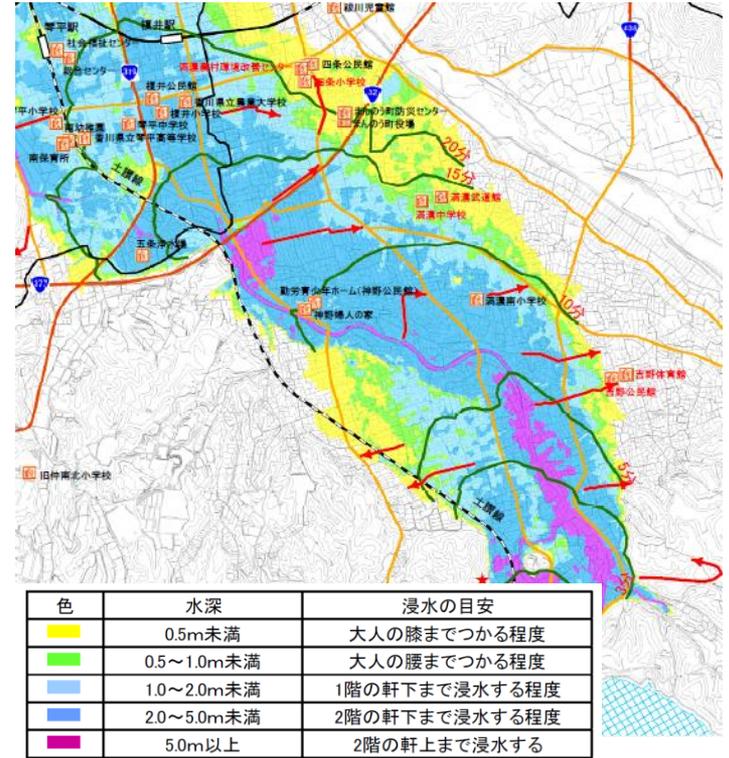
東日本大震災により、南海トラフ巨大地震に対する意識が高まった。まんのう町の被害想定は、死者20人、負傷者340人などとなっている。また、満濃池の決壊の恐れもある。こうした想定を受け、地域防災計画を見直すとともに、自主防災組織の育成や、防災訓練の実施、防災資機材・備蓄物資の整備などに努めている。

南海トラフ巨大地震のまんのう町の被害想定

死者	20人
負傷者	340人
全壊	290棟
避難所への避難者	250人

資料：香川県地震・津波被害想定（第二次公表）
（平成25年）

満濃池ハザードマップ



- 高松自動車道
- 国道
- 県道
- 鉄道
- 避難場所
- 一時避難場所（提案）
- 5分 洪水予想到達時間
- 避難経路

次期10年の課題

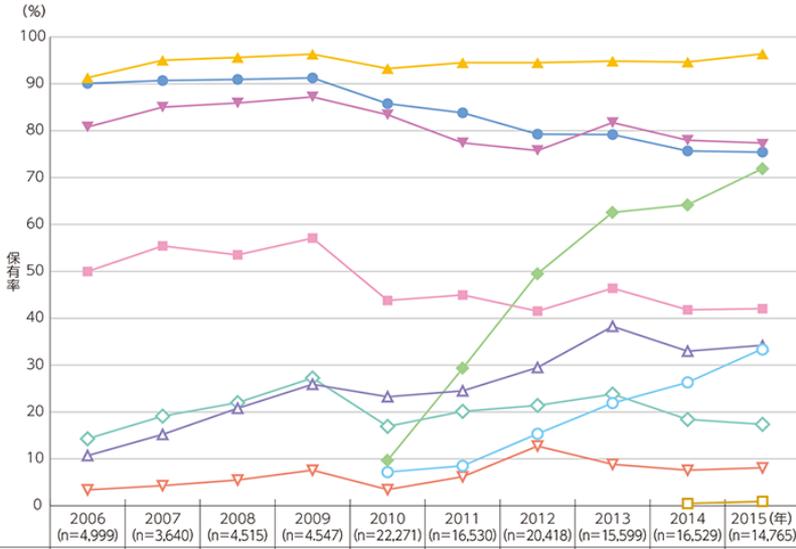
地域ぐるみで安心な備え

- 災害対策の強化（自主防災組織の育成、防災訓練等による意識啓発など）
- 消防・救急体制の充実（職員・団員の確保・育成。機器・車両等の計画的な更新など）

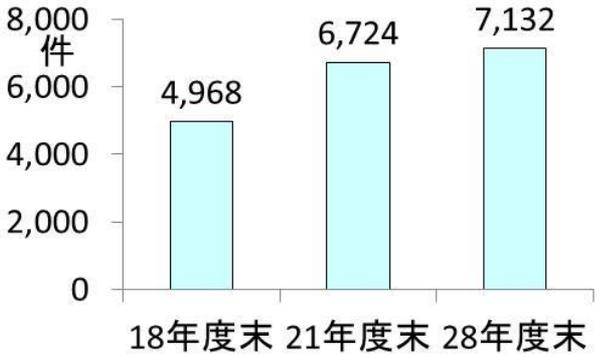
22 情報通信基盤の整備

まんのう町では、従来、旧満濃町、旧仲南町でオフトークにより、旧琴南町で防災行政無線により、行政告知放送を実施。これとは別に、平成元年から、市町村も出資する中讃ケーブルビジョン株式会社がケーブルテレビ事業、インターネットプロバイダー事業を展開。
平成20年度に、テレビ放送地デジ化への移行や高速ブロードバンドのニーズを受け、町全域に光ファイバを敷設し、中讃ケーブルビジョン株式会社と協働で地デジ対応、高速ブロードバンド化を図るとともに、これに対応した放送告知器（音声のみ）を1世帯に1台ずつ貸与している。

情報通信端末の世帯保有率の推移



放送告知器の設置件数



資料: 主要施策の成果に関する報告書

近年は、マイナンバーの導入に対応するとともに、広域での観光ARアプリの開発なども推進。

情報通信端末は、近年はスマートフォンやタブレット端末の普及など、ユビキタス化が著しい。
電子決済なども一層進み、便利になる反面、リスクマネジメントの必要性がこれまで以上に高まっている。

資料: 平成28年版情報通信白書(アンケートによる推計値)

次期10年の課題

さらなる情報化への対応

- (1) 地域情報化の推進
(IoT(インターネットにつながるモノ)・ビッグデータの活用など)
- (2) 行政情報化の推進
(情報通信基盤の適切な保守管理と個人情報保護の徹底)

23 農林業の振興

まんのう町での販売目的の農作物作付面積と畜産飼養頭羽数(平成27年)

〔穀類〕

	まんのう町	香川県
水 稲	1,141	11,327
小 麦	94	1,480
大麦・裸麦	137	912
そ ば	1	17
その他の雑穀	1	10
ばれいしょ	2	12
かんしょ	0	64
大 豆	12	63
小 豆	0	3
その他の豆類	0	14

〔果樹〕

	まんのう町	香川県
温州みかん	8	672
その他かんきつ	0	154
ぶ とう	X	97
日 本 な し	X	26
も も	2	139
お う と う	X	1
び わ	X	30
か き	7	102
く り	3	15
う め	2	7
す も も	X	5
キウイフルーツ	X	28
その他の果樹	6	34

資料：×は作付農家が少ないため特定されないようデータを秘匿化。－は値がゼロ。0は0.5ha未満。

〔野菜〕

単位：ha、頭・羽

	まんのう町	香川県
だ い こ ん	4	89
に ん じ ん	X	73
さ と い も	X	18
やまのいも	0	3
は く さ い	X	20
キャベツ	9	180
ほうれんそう	6	41
レタス	X	732
ね ぎ	X	243
たまねぎ	X	136
ブロッコリー	X	636
き ゆ う り	2	62
な す	X	25
ト マ ト	2	38
ピ ー マ ン	0	4
い ち ご	X	72
す い か	0	6
その他の野菜	29	380

〔畜産〕

	まんのう町	香川県
乳 用 牛	618	4,995
肉 用 牛	X	14,191
豚	-	37,233
採 卵 鶏	135,800	4,579,400
ブロイラー	734,000	8,214,300

資料：農林水産省「平成27年世界農林業センサス」

平成27年の農林業センサスによると、まんのう町の農作物の作付面積は、水稻が1,141ha、大麦・裸麦が137haとともに県全体の10分の1を占める。大豆も県全体の5分の1を占める。

野菜・果樹では、大規模な作付作物はないものの多品種を栽培。畜産では、豚の飼養はないが、それ以外は県内の主力産地。特に、ひまわりをえさに飼養するまんのうひまわり牛が近年、市場に定着。

林業は、木材の搬出はわずかだが、竹加工品や生薬の原料など、林産物の活用は継続的に推進。

店頭に並ぶまんのうひまわり牛



写真：まんのうひまわり牛応援団ホームページより

仲南町森林組合の竹パウダー製造工場
(29年7月知事視察時)

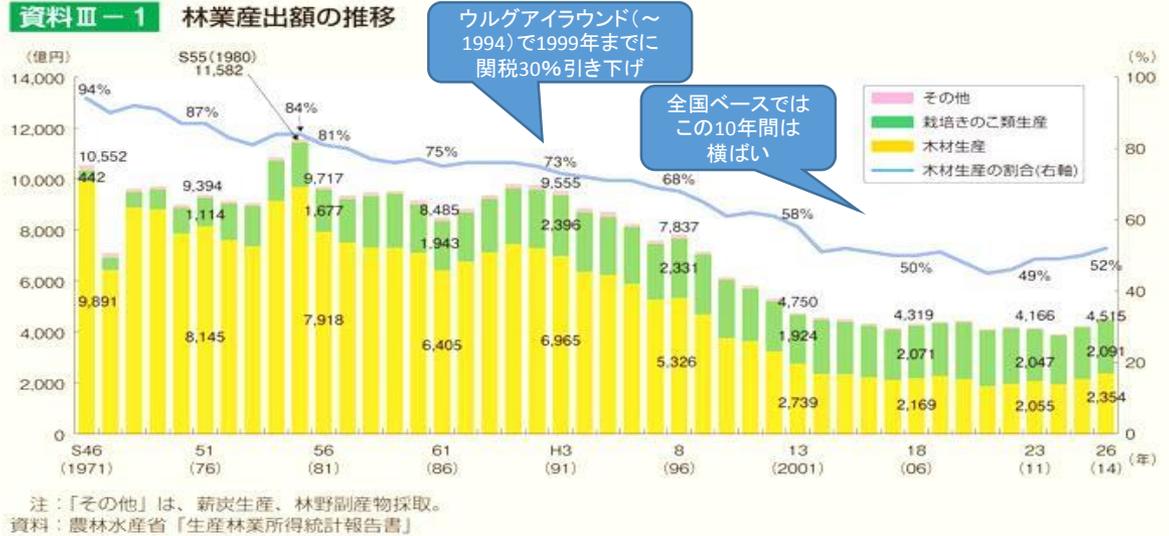


写真：香川県ホームページより

23 農林業の振興（続き）

わが国の農林業は、貿易自由化による安い輸入品との競争下で、一貫した従事者の減少と高齢化が続いている。しかし、食料の自給の必要性や、農林業の持つ多面的機能（自然環境の保全、防災、食育など）を守っていく必要があり、引き続き振興が必要。また、近年は、高品質の日本産農林産物に対する海外の需要が高まっており、海外の市場にも目を向けていく必要がある。

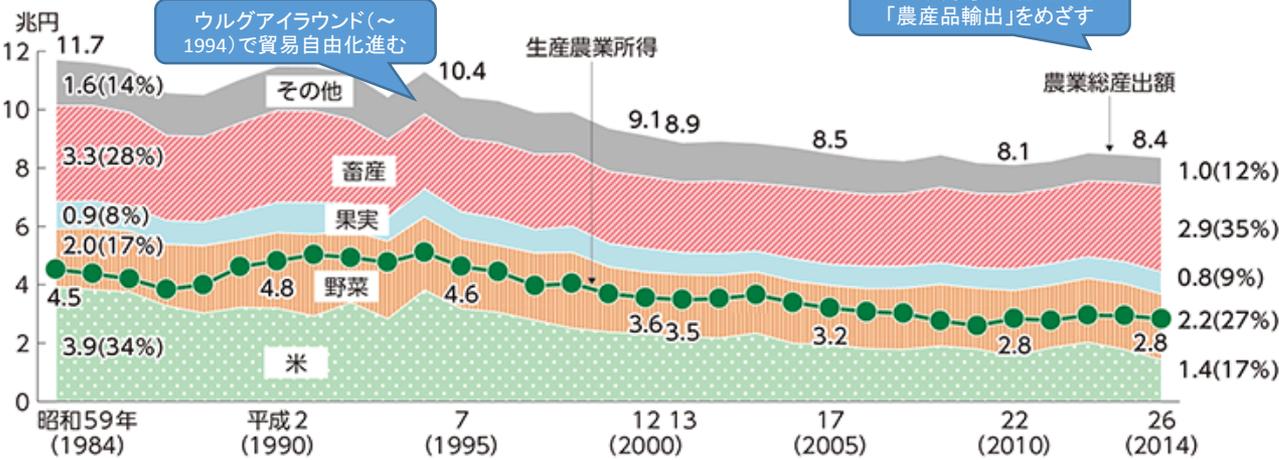
わが国の林業産出額の長期的な推移



資料: 農林水産省「平成27年度 森林・林業白書」

わが国の農業産出額の長期的な推移

図2-1 農業総産出額及び生産農業所得の推移



資料: 農林水産省「平成27年度 食料・農業・農村白書」

次期10年の課題

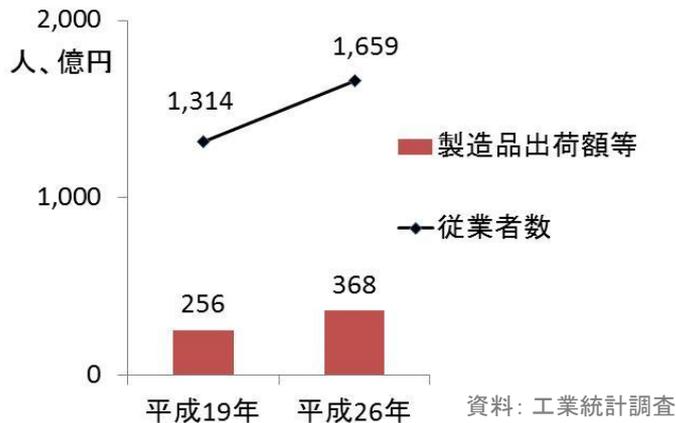
多面的機能を有する地域の農林業を守る

- (1)担い手の育成
- (2)高品質農産物の安定生産
- (3)有害鳥獣対策の強化
- (4)食育の推進
- (5)かりん・ひまわり・生薬の6次産業化
- (6)海外マーケットの開拓
- (7)グリーン・ツーリズムの振興

24 商工業の振興と雇用創出

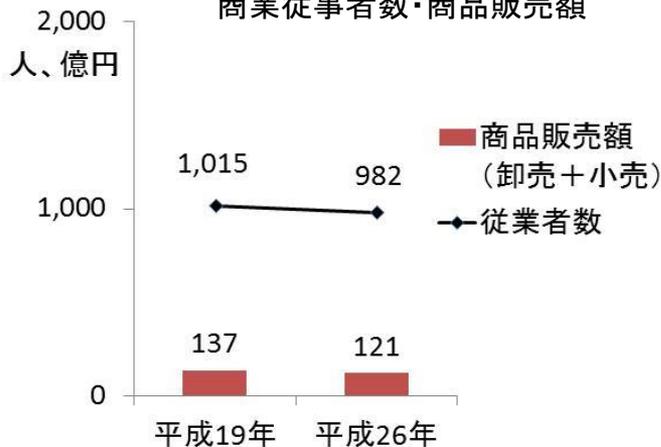
製造業は、従業者数、製造品出荷額等ともに増加。卸売・小売商業は、従事者数、商品販売額ともに減少傾向。

製造業従事者数・製造品出荷額等



地元消費の拡大を図るため、平成19年から、まんのう町商工会が商品券事業を開始し、町も支援。

商業従事者数・商品販売額



資料: 19年は商業統計調査、26年は経済センサス

製造業は、プラスチック加工関連企業や、食品加工業、機械工業などが立地。小売商業は、中規模のショッピングセンターやコンビニエンスストア、各種日用買い回り品の商店が立地するものの、平成20年に開設した、延床面積11万m²のイオンモール綾川など町外の大型小売店舗に流失傾向。一方、著名なうどん店やカフェをはじめ、小規模ながら広域的に集客する店舗も複数立地する。

まんのう町商品券(見本)



まんのう町内最大の工場
(株式会社オークラプロダクツ仲南工場)



写真: 株式会社オークラプロダクツホームページ

次期10年の課題

既存事業所の振興と、新たな起業の促進

- (1) 既存事業所の業務継続・拡大の促進
- (2) 高齢化等に伴う事業承継の支援
- (3) 企業の誘致、新規起業の促進
- (4) 地元購買の促進

25 観光の振興

国営讃岐まんのう公園を中心に多くの観光客が訪れているが、町内での宿泊はわずか。わが国での近年の外国人観光客の急増の恩恵も得られていない。農業・防災と両立させながら、満濃池を活用していくことが最大の課題。

四季折々の花が楽しめる国営讃岐まんのう公園



写真：国営讃岐まんのう公園ホームページ

満濃池バスフィッシング大会のチラシ

MONSTER BASS HANTER
参加者募集中

おかつぱり部門 5 日 募集人数 200名
おかつぱり部門 6 日 募集人数 200名
ボート部門 募集人数 50艇

日本最大級のため池「満濃池」で
2日間限定のバスフィッシング大会!

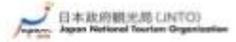
満濃池では、平成27年にバスフィッシング大会を実現。

まんのう町の主要な観光地の入込客数(万人)

	23年度	27年度
国営讃岐まんのう公園	42.7	55.4
エピアみかど	14.8	15.3
仲南道の駅	22.0	17.5
満濃池森林公園	12.7	14.4
塩入温泉	12.8	12.1

資料：主要施策の成果に関する報告書

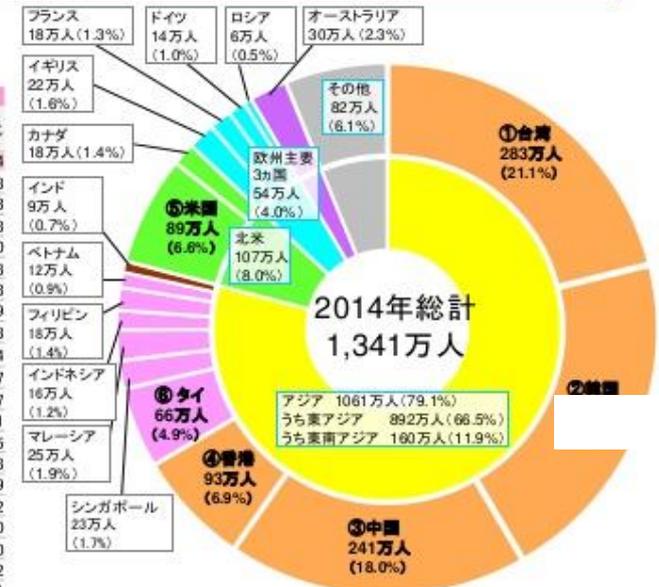
1-3. 訪日外国人旅行者数及び国・地域別割合



訪日外客の市場別状況 (2003/2013/2014年比較)

国・地域	総数			伸び率(%)
	2003年 (VC開始)	2013年	2014年 (暫定値)	
総数	521,1725	10,363,904	13,413,600	+29.4 +157.4
韓国	1,459,333	2,456,165	2,755,300	+12.2 +88.8
台湾	785,379	2,210,821	2,829,800	+28.0 +260.3
中国	448,782	1,314,437	2,409,200	+83.3 +436.8
米国	655,821	799,280	891,600	+11.6 +36.0
香港	260,214	745,881	925,900	+24.1 +255.8
タイ	80,022	453,642	657,600	+45.0 +72.1
豪州	172,134	244,569	302,700	+23.8 +75.9
英国	200,543	191,798	220,100	+14.8 +9.8
シンガポール	76,896	189,280	227,900	+20.4 +196.4
マレーシア	65,369	176,521	249,500	+41.3 +281.7
フランス	85,179	154,892	178,600	+15.3 +109.7
カナダ	126,065	152,766	182,900	+19.7 +45.1
インドネシア	64,637	136,797	158,700	+16.0 +145.5
ドイツ	93,571	121,776	140,200	+15.1 +49.8
フィリピン	137,584	108,351	184,200	+70.0 +33.9
ベトナム	17,094	84,469	124,300	+47.2 +62.2
インド	47,520	75,085	87,900	+17.1 +85.0
ロシア	44,512	60,502	64,100	+5.9 +44.0
イタリア※	35,826	67,228	67,420	+0.3 +88.2
スペイン※	14,772	44,461	53,043	+19.3 +259.1
その他	391,070	686,862	823,100	+19.8 +110.5

※11-12月推計値が未確定の為、1-10月推計値累計で算出。



※ ()内は、訪日外国人旅行者数全体に対するシェア
※ その他には、アジア、欧州等各地域の国であっても記載のない国・地域が含まれる。
※ 数値は、それぞれ四捨五入によるため、集計において合計とは合致しない場合がある。
※ 日本政府観光局 (JNTO) 資料より観光庁作成

次期10年の課題

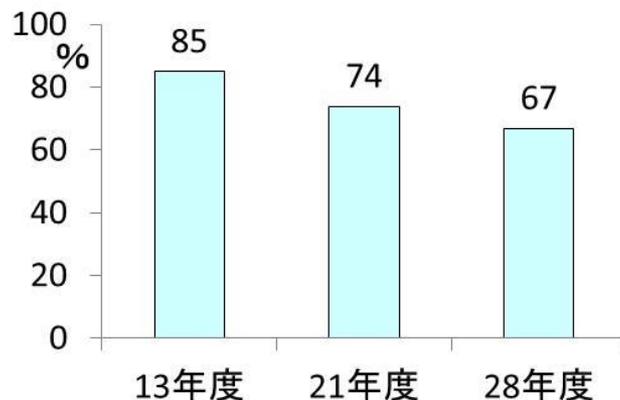
観光を地域経済に波及させる

- (1) 満濃池の活用
- (2) グリーンツーリズムの振興
- (3) 宿泊・飲食・物販の魅力づくり
- (4) 外国人観光客の受け入れ体制の強化

26 行財政の健全化

27 住民自治の確立と支援

まんのう町の自治会加入率の推移



行財政の各種指標の状況

	単位	19年度	27年度
職員数	人	221	181
積立金現在高	億円	25.7	70.5
地方債現在高	億円	100.6	123.6
実質公債費比率	%	14.2	8.4
経常収支比率	%	89.7	84.8
財政力指数	-	0.40	0.37
地方税徴収率	%	97.1	97.8

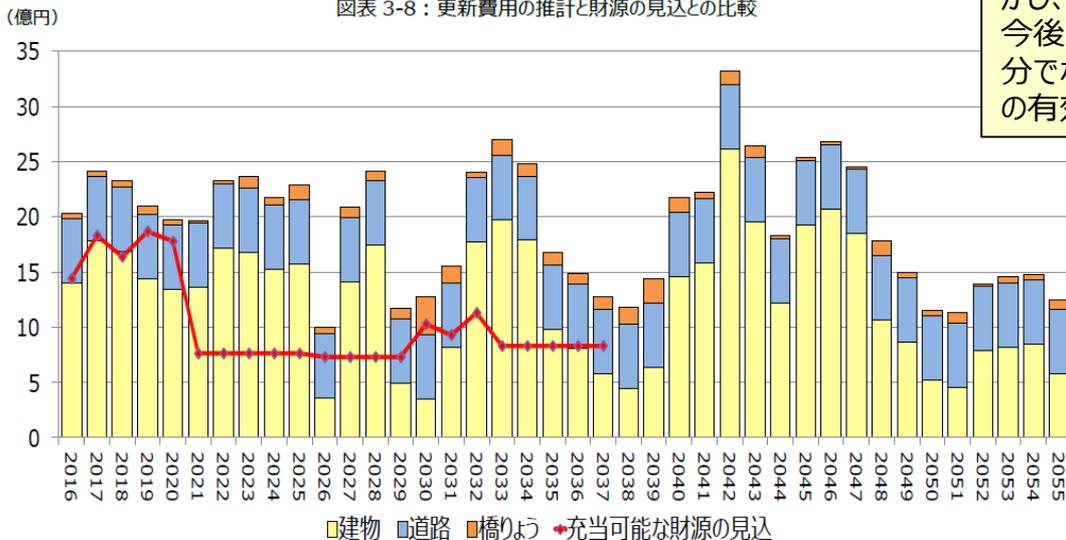
自治会加入率は年々減少傾向。まちづくりにコミュニティの活性化は不可欠であり、振興を図っていくことが必要。

資料：決算カード

行財政の各種指標の状況は次のとおり。
職員数は、定員管理を推進し、合併直後から約40人の減。人件費の削減につながっているが、1人ひとりの職員の負担は増大している。
財政指標は、積立金が大幅に増加するなどおおむね堅調に推移。しかし、平成28年度に策定した公共施設等総合管理計画によると、今後、老朽化する公共施設・インフラの更新に充当できる財源が十分でないことが明らかになっており、統廃合や転用、複合化など施設の有効活用を一層図っていくことが必要となっている。

まんのう町の町有の公共施設・インフラの更新費用の試算

図表 3-8：更新費用の推計と財源の見込との比較



資料：まんのう町公共施設等総合管理計画（平成28年度策定）

次期10年の課題

引き続き、効果的・効率的なまちづくりを推進

- (1) 計画行政の推進
- (2) 職員の活性化
- (3) 公共施設等総合管理の推進
- (4) 財政の安定化
- (5) 協働の取り組みの継続・発展